

行政評価結果一覧

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

1 未来を担う人と文化を育むまち

(1) 輝く子どもを育むまちづくり

① 学びの環境の充実

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	学校教育施設を整備する		施策の総合評価	B	課題 方向性	引き続き安全で安心な教育環境の確保が求められる。				
			担当部	教育委員会						
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見		
構成事務事業名 (評価対象外)	小学校管理事業、中学校管理事業、幼稚園管理事業、小学校施設整備事業、中学校施設整備事業、幼稚園施設整備事業、学校教育施設整備基金事業、こども学習センター管理事業、教育委員会費事務経費、事務局費事務経費									

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	教育の機会均等を確保する		施策の総合評価	B	課題 方向性	就学困難な子どもたちに適切な支援を行うことで、誰もが等しく学べる機会が確保できているため、引き続き施策を実施していく。		
			担当部	教育委員会				
構成事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
相生市奨学金事業	管理課	840,465	1,065,716	1,906,181	B	誰もが等しく学べる機会を確保するため、引き続き実施する。	B	学習意欲と能力があるにも関わらず経済的理由により修学困難な生徒に対して、教育の機会均等を確保するために継続していく。
小学校通学費補助事業	管理課	532,294	246,300	778,594	B	誰もが等しく学べる機会を確保するため、引き続き実施する。	B	コスモス教室通学者も対象としており、現状を維持することが最適である。
中学校通学費補助関係事業	管理課	420,232	113,993	534,225	B	誰もが等しく学べる機会を確保するため、引き続き実施する。	B	コスモス教室通学者も対象としており、現状を維持することが最適である。
構成事業名 (評価対象外)	小学校特別支援教育就学奨励事業、中学校特別支援教育就学奨励事業、小学校要・準要保護児童就学援助事業、中学校要・準要保護生徒就学援助事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	子どもの育成環境の充実を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	制度利用希望者に対し、指導員や施設面積に一部不足が生じている。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
放課後児童保育事業	生涯学習課	39,104,340	3,519,791	42,624,131	A	就労形態の多様化や一人親世帯の増加等により放課後児童学級へのニーズは高まっている。就労に支障をきたす家庭、安心して放課後が過ごせない児童が発生しないように就労と子育ての両立を安心して図れる環境を維持する必要がある。	A	保護者が就労と子育ての両立を安心して図れる環境を維持することは重要である。
学校支援地域本部事業	生涯学習課	1,413,465	222,800	1,636,265	B	学校の要望に応じて、地域住民が自らの経験や知識を活かして学校管理下の教育活動への支援を行うもので、学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てる環境整備をすることは、地域の絆の強化を図る側面もあり、重要である。	B	学校支援ボランティアは児童・生徒との触れ合いに満足感を得ることのでき、学校は支援を受けることで環境の整備が進んだり、よりきめ細やかな指導が可能になったりするなど、双方にとって有益である。
預かり保育事業	管理課	19,793,326	475,767	20,269,093	B	教育と子育ての両面において引き続き支援し、子どもたちを守り育てるまちづくりにつなげる。	B	人材の確保が困難な状況下において、現在の利用者が引き続き安心して利用できるように事業を継続していく。
相生っ子学び塾事業	生涯学習課	2,476,753	2,833,957	5,310,710	B	地域に住むボランティアと関わることで子どもが地域とつながりを感じられる側面もある。安定的な講師の確保と教科書の進度に沿った指導及び子どものニーズに合った指導が求められる。	B	子どもが地域とのつながりを感じながら、自らの将来性を育むためにも事業を継続する必要がある。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	子どもの育成環境の充実を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	制度利用希望者に対し、指導員や施設面積に一部不足が生じている。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
青少年育成補助金事業	生涯学習課	490,271	80,000	570,271	B	PTA活動を支えることで、子どもに対する教育・健全育成を担うことができる。	B	子どもに対する教育・健全育成は社会要請であり、必要不可欠である。
青少年育成事業	生涯学習課	5,341,999	2,098,500	7,440,499	D	二十歳のつどいは、久しぶりの友人と再会することで、郷土を愛する心を育てることが期待できる。国内交流事業は費用対効果等をふまえ、今年度をもって廃止とする。	D	二十歳のつどいは、人生で一度の経験であり、自分たちが育った郷土に対する理解と関心を深め、郷土を愛する心を育てることが期待できる。国内交流事業は、費用対効果等をふまえ、今年度をもって廃止となる。
放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	3,056,164	1,504,491	4,560,655	B	放課後における児童の安心・安全な居場所作りとして不可欠な事業である。学校・家庭・地域のつながりを強化し、子どもが世代を超えてふれあう機会として重要であり、サタデースクールでは昔遊び・文化的な活動が期待できる。	B	少子化や核家族化が進展し、子どもが世代を超えてふれあう機会が減少している等、地域社会での人間関係が希薄化しており、学校・家庭・地域のつながりの強化と教育力の向上は必要である。また、放課後活動だけでは、昔遊びや文化的な活動までできていないが、サタデースクールで昔遊び・文化的な活動をサポーターだけでなく、市内全部の学校の児童との交流活動も含めて実施できている。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②知・徳・体の調和のとれた人材の育成

取り組み事項			施策の総合評価	A	課題 方向性			
	確かな学力を育成する		担当部	教育委員会		児童生徒の学力向上のため、現状の把握・分析を継続して実施し、学力の定着、英語学習の充実を図る取組みを実施した。今後現状の把握・分析の方法等最適な分析ができるよう検討を行い変更を行った。		
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
外国人英語指導助手招致事業	学校教育課	3,527,253	1,695,428	5,222,681	B	生きた英語に触れることで、生徒の語学力やコミュニケーション能力を育成すると共に、異文化に対する理解を深め、英語力の向上が図られているため、継続して実施する。	B	年間配置計画に基づき、事業実施が出来たが、長期休業中等の期間に生徒との関わり、リスニング力向上のための体制づくりの検討を行い、令和7年度より実施を予定している。
ぐんぐん学力アップ事業	学校教育課	1,559,953	838,400	2,398,353	B	児童・生徒の学力を分析し、課題を把握することで、授業改善に活かすことができ、学力向上につながっているため、継続して実施する。	B	標準学力検査の結果により学力の状況を把握し、分析することで効果的な学習計画を図ることができている。評価と指導の一体化のために本事業は必要不可欠である。
英語教育推進事業	学校教育課	1,821,009	7,145,580	8,966,589	B	幼児期から外国語に触れる機会を提供することで、英語に慣れ親しみ、コミュニケーション能力を育成すると共に、異文化に対する理解を深め、英語力の向上が図られている。令和5年度より英語検定料補助を開始し、英語検定試験が受けやすい環境整備ができている。英語学習に対する意欲向上にもつながるため、継続して実施する。	C	幼児期から、外国語活動や外国語に触れる機会と使用する機会があることで、コミュニケーション能力を育成し、異文化に対する理解を深める場の提供が出来ている。また、英語検定試験を生徒が受験しやすくなるよう検討を行った。
小学校外国語教育推進事業	学校教育課	2,680,574	15,800,400	18,480,974	B	幼児期から英語力の向上を図り、継続してコミュニケーション能力を育成すると共に、異文化に対する理解を深め、系統的に英語力向上を図っているため、継続して実施する。	B	幼稚園に引き続き、小学校低学年においても、外国語を通じた実践的なコミュニケーションを取る機会を設けることで、英語への興味や関心を育み、異文化に対する理解を深めることが出来ている。
構成事務事業名 (評価対象外)	指定教育等研究研修事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	豊かな心を育成する		施策の総合評価		課題 方向性	子ども達の発達段階に応じて継続した取り組みやそれぞれの校区の特色を活かした活動を引き続き実施していき、生涯にわたり学習する基礎を培い、子どもたちの豊かな心の育成に取り組んでいく。		
			A	担当部			教育委員会	
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
小学校体験活動事業	学校教育課	1,750,970	6,900,000	8,650,970	B	集団活動や地域の人々との交流、自然、社会、芸術文化に触れる体験など、児童の発達段階に応じた体系的な体験教育の推進を図っており、豊かな心の育成に必要であるため、継続して実施する。	B	地域の特色を活かした体験活動や、自然学校を通じて児童が人や自然、地域社会と触れあうことができ、主体的に判断、行動し、問題解決する能力を高めることが出来ている。
心豊かな体験活動推進事業	学校教育課	1,821,009	1,817,157	3,638,166	B	トライやる・ウィーク事業等、地域人材を活かした幅広い体験学習を通じて、生徒の自尊感情、他人への思いやり、ふるさとを愛する心を醸成しており、豊かな心の育成が図れているため、継続して実施する。	B	生徒へのアンケートにより、「人の役に立つうれしさを感じた」生徒の数は減少した。生徒のニーズ等を把握しながら、生徒が地域の大人や親の生き方への意識の高まり、モラルなどの倫理観の育成、学ぶこと、働くことの意義を深められるよう事業所と連携を深める必要がある。
創意ある学校園づくり推進事業	学校教育課	1,821,009	2,000,000	3,821,009	C	校区の特色を活かした授業の実施は、豊かな心を育成するために有効であるため、継続して実施する。また、中学校区ごとに実施する事業を施策目的に対してより効果的な事業とするための検討を行う。	C	施策目的に対して、より効果的な事業とするため、各中学校区で幼・小・中それぞれの重点課題の解決に向けた事業展開ができるよう、「みんなの学校事業」を「幼小中一貫教育推進事業」において新たな事業に組み替えるなど見直しを図る。
芸術文化活動振興事業	学校教育課	280,155	0	280,155	B	令和6年度対象者がいなかった。児童・生徒の文化活動の振興と向上を図るため、継続して実施する。	B	事業の体制整備及び周知徹底を行っているが、対象者がおらず、事業の実施方法を検討しながら、継続していく。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	豊かな心を育成する		施策の総合評価	A	課題 方向性	子ども達の発達段階に応じて継続した取り組みやそれぞれの校区の特色を活かした活動を引き続き実施していき、生涯にわたり学習する基礎を培い、子どもたちの豊かな心の育成に取り組んでいく。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
人権教育事業	人権教育推進室	19,355,433	2,534,242	21,889,675	B	人権教育の実施について、教職員への研修機会の充実や子どもの発達段階に対応した人権教育実践の取組の継続に努める。	B	自他の人権を守り、人権課題を解決しようとする実践的な行動力を身に付けさせる等、教育活動全体を通じての人権教育を推進するため、教職員へ向けて、情報発信、指導助言、研修の機会の提供を行う。また、人間尊重の精神や生命に対する畏敬の念を培い、豊かな心を育むための道徳教育についても同様とする。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	健やかな体を育成する		施策の総合評価	B	課題 方向性	目標達成には至らなかったが、80%以上の児童生徒が運動やスポーツが好きと答えており、継続した実施が必要である。		
			担当部	教育委員会				
構成事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
学校給食運営事業	学校教育課	115,459,861	144,823,642	260,283,503	B	幼稚園から栄養バランスのとれた学校給食を無料で提供することで、学校給食を食育の「生きた教材」として活用することができ、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせ、健やかな体を育成することができているため、継続して実施する。	B	地場産品を給食へ多く取り入れることで、食育の推進を図り、家庭や地域と連携しながら食育に取り組むことができた。物価高騰しても質の保たれた給食を提供する必要がある。
クラブ活動運営事業	学校教育課	1,821,009	3,205,921	5,026,930	B	部活動を通して、生徒が自己肯定感を高めることができている。また、部活動指導員を配置することで、指導の充実を図ることが出来ている。引き続き地域の組織、団体と連携した部活動実施の検討を進めていく。	B	部活動をより充実させるために、地域移行も含めた検討を引き続き行っていく。
学校体育振興事業	学校教育課	2,209,403	5,329,195	7,538,598	B	学校における児童・生徒の体力・運動能力向上のため、校内マラソン大会や運動部活動の体育大会への参加等の取り組みを行っており、継続した事業実施が必要である。	B	中学校総合体育大会の円滑な運営や、各種大会への参加支援をすることで、運動しやすい環境づくりができ、生徒の体力向上を図れている。
構成事業名 (評価対象外)	児童・生徒等健康管理事業、ペーロン祭協賛球技大会事業、学校医等委嘱事業、学校健康センター事業、感染症対策事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	学びを支える体制の充実を図る		施策の総合評価		課題 方向性	わかりやすい授業の実現のための研究、工夫に取り組んでいる教職員数は増加し、目標達成出来ている。		
			B	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
教育支援センター事業	学校教育課	4,520,388	578,773	5,099,161	B	不登校対策の施設として教育支援センター「コスモス教室」が個々の実態に即した支援を行い、各学校と密に連携を取り、児童・生徒が学校への復帰や社会的自立に向けて継続して本事業を進める必要がある。	B	子どもや保護者からの相談を受け、一人ひとりの特性や家庭環境を考慮しながら、学校への復帰や社会的な自立に向けた適切な支援を行う必要がある。
相生っ子かがやき顕彰事業	学校教育課	574,318	35,130	609,448	B	権威ある大会等において、成績が顕著な中学生以下の者に相生っ子かがやき顕彰を贈呈することで、児童・生徒のスポーツや文化芸術に親む心の向上を図っており、継続して実施する。	B	受賞者について、市ホームページや広報等を活用し、より多くの人へ情報提供できるよう努め、受賞だけでなく、市民や他の児童生徒のスポーツ及び文化芸術の推進が図れた。
教育研修室運営事業	学校教育課	5,717,409	992,678	6,710,087	B	多様化する課題に対応し、より充実した教育活動を展開するため、生徒指導やICT研修、研究部会の研修を実施した。指導力の向上のためにも継続して事業を実施する。	B	研修内容や研究部会の内容を日々の授業に活用することができている。多様化する課題等に対応するためにも、継続して本事業を実施する必要がある。
相生市小中一貫教育推進事業	学校教育課	1,190,659	70,790	1,261,449	A	幼・小・中教職員を対象とした研修会を実施し中学校区の連携を深めることが出来た。より充実した教育活動を展開するため、幼稚園から中学校までの12年間を見通した体系的な取り組みが必要であり、本事業を継続して実施する。	A	中学校区の連携を進める運用方法の検討を行った。教育課題に適切に対応し、充実した教育活動を展開するため、幼稚園から中学校までの12年間を見通した体系的な取り組みが必要であり、継続していく。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	学びを支える体制の充実を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	わかりやすい授業の実現のための研究、工夫に取り組んでいる教職員数は増加し、目標達成出来ている。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
青少年健全育成活動事業	学校教育課	5,781,086	4,157,423	9,938,509	B	青少年健全育成市民大会を開催し、家庭・地域・学校の連携を深めるなど、青少年の問題行動の未然防止や不審者等からの子ども見守り、青少年の健全な育成を図っており、継続して実施する必要がある。	B	幅広い分野や各地域から委員を選任し、青少年の健全育成に努めている。 また、青少年健全育成大会を開催し、家庭・地域・学校の連携をより深めることができている。
構成事務事業名 (評価対象外)	小学校教育振興費事務経費、中学校教育振興費事務経費、教育統計調査事業、教育指導費事務経費、矢野・若狭野小学校交流事業、青少年問題協議会運営事業、補導委員活動事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(2)誰もが楽しく学べるまちづくり
 ①社会教育環境の充実

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	文化芸術の振興を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	資料が適切に保存できる環境と、来館者が快適に見学できる環境を維持するために学芸員を採用し、環境の維持に努めたい。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
文化振興補助 金事業	生涯学習課	770,426	730,000	1,500,426	B	相生市文化協会への運営補助を行い、市民の自主的な文化活動を支援するとともに、芸術文化活動助成事業により発表の機会の充実を支援する。	B	引き続き、多種多様な芸術文化団体を支援することで、芸術文化活動の活性化を図る。
スポーツ・文化 芸術顕彰事業	生涯学習課	350,194	139,470	489,664	B	引き続き、優れた取り組みに対し顕彰を行い、市民の芸術文化活動への関心を高める。	B	今後も文化芸術活動の目標の1つとして必要である。
文化振興事業	生涯学習課	4,539,767	2,512,060	7,051,827	B	文化芸術の担い手である市民の創造性や豊かな感性を育み、文化意識の向上を図るために満足度の高い文化祭・美術展の開催をしていく。	B	文化協会の団体数が増加傾向にあり、文化祭に参加希望の団体が増えたことから、開催方法や開催時期について検討した上で事業を進めていく必要がある。
相生市文化会 館管理運営事 業	生涯学習課	18,388,072	113,349,536	131,737,608	B	より一層、利用者に満足いただけるような運営を目指して、魅力ある自主事業の実施及び利用者への適切な対応に努める。	B	引き続き、市内外から多くのお客様に来館いただけるような事業を行っていくとともに、自主事業に係る経費の削減を検討しながら施設の円滑な運営を目指す。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	文化芸術の振興を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	資料が適切に保存できる環境と、来館者が快適に見学できる環境を維持するために学芸員を採用し、環境の維持に努めたい。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
文化財事業	生涯学習課	5,768,528	1,840,140	7,608,668	A	引き続き、学芸員の採用に努めるとともに、特別展や歴史講座の開催により、ふるさと相生への愛着を育むことができるように努める。	A	市域に存する貴重な文化財を適切に保存するとともに、特別展や歴史講座・史跡めぐりをおして啓発することで、市民が郷土の歴史文化に理解と愛着を深め、郷土愛の醸成に努める。
資料館管理事業	生涯学習課	5,768,528	3,010,490	8,779,018	A	資料が適切に保存できる環境と、来館者が快適に見学できる環境の維持に努める。	A	郷土の歴史文化の啓発の充実を図るためにも、貴重な資料を適切に展示・保存するための環境を整える必要がある。
スポーツ・文化芸術顕彰事業	体育振興課	1,821,009	0	1,821,009	B	引き続き、優れた取り組みに対し顕彰を行い、市民のスポーツ活動への関心を高める。	B	今後も功績に相応した顕彰を贈呈していく。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	人権啓発活動を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	多様化・複雑化する人権問題について、市民人権学習、啓発事業、啓発紙の発行等により、適切に啓発することができている。今後は、各団体のニーズに合わせた市民人権学習の開催方法や内容を考えると共に、人権啓発事業へのより多くの市民の参加について効果的な方法を探求していく。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
人権啓発事業	人権教育推進室	6,112,328	5,653,280	11,765,608	B	市民が参加しやすい環境を整え、市民人権学習や人権の集いを実施し、さまざまな人権課題について考えるとともに、学びを通じて人と人とのつながりの大切さについて再認識し、住民間の絆を更に深める機会とする。今後も関係課室と連携し、啓発活動を進めていく。	B	市民人権学習、人権の集いの実施、啓発誌「ひとみ」の発行等を通して、一人でも多くの市民に人権問題に対する正しい理解と認識を深める場が提供できるような人権啓発について創意工夫に努める。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	生涯学習環境をつくる		施策の総合評価	B	課題 方向性	魅力ある講座の実施により、参加者の増加に努める。		
			担当部	教育委員会				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
公民館活動事業	生涯学習課	17,419,331	4,936,373	22,355,704	B	市民の文化的な活動を支えるために、公民館活動を周知し、公民館講座の参加を促し、積極的に支援していく。	B	市民に積極的に公民館活動を周知し、公民館講座等の参加を促し、市民の文化活動を支援する。
多目的研修センター活動事業	生涯学習課	4,405,819	782,086	5,187,905	B	市民の文化的な活動を積極的に支援していく。	B	市民の文化的な活動を支えるため、継続していく必要がある。
図書館運営管理事業	生涯学習課	700,388	71,823,480	72,523,868	B	蔵書の適正な管理と貸出を円滑に行っていく。	B	蔵書の適正な管理と円滑な図書館運営を行うために、資料の収集、管理と提供及び保存などを行っていく必要がある。
高齢者教育事業	生涯学習課	4,437,807	1,187,077	5,624,884	C	高齢者の活動の場を確保し交流を促進していく。	B	高齢者の活動の場を確保するためにも必要。
構成事務事業名 (評価対象外)	社会教育事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		施策の総合評価		課題 方向性	利用者頻度が高く、老朽化が進んでいる施設については、計画的に施設の修繕を行う必要がある。 レクリエーションスポーツが市民にとって生きがいとなるよう、更に普及推進に努める。		
			B	担当部				教育委員会
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
市民体育館管理運営事業	体育振興課	2,960,713	95,124,542	98,085,255	B	施設を適切に管理し、市民が安全かつ快適に利用できるよう努める。	B	施設を適切に管理し、市民が安全かつ快適に利用できるよう努めていく。
市民プール管理運営事業	体育振興課	490,271	6,569,600	7,059,871	B	施設管理者と連携を取りながら今後も適正管理に努める。	B	異常の早期発見と指定管理者の専門的な見地から市と連携し、計画的な施設維持に努め、適正な管理を進める。
市民グラウンド管理運営事業	体育振興課	2,565,958	4,073,834	6,639,792	B	利用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の削減に努める。	B	利用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の削減に努める。
温水プール管理運営事業	体育振興課	2,101,164	75,518,688	77,619,852	B	異常の早期発見と指定管理者の専門的な見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理運営を進める。	B	異常の早期発見と指定管理者の専門的な見地から市と連携し、計画的な施設維持に努め、適正な管理を進める。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		施策の総合評価		課題 方向性	利用者頻度が高く、老朽化が進んでいる施設については、計画的に施設の修繕を行う必要がある。 レクリエーションスポーツが市民にとって生きがいとなるよう、更に普及推進に努める。		
			B	担当部				教育委員会
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
社会体育振興事業	体育振興課	4,692,583	2,210,810	6,903,393	B	市民一人ひとりが年齢や体力に応じて、生き生きとスポーツを行えるように支援することは重要であるため継続して実施する。	B	市民一人ひとりが年齢や体力に応じて、生き生きとスポーツを行えるよう継続して実施していく。
ジュニアスポーツ振興事業	体育振興課	4,660,745	1,550,000	6,210,745	B	生涯にわたりスポーツが楽しめるよう、幼少期からスポーツに触れる機会の提供や、ジュニアを対象としたスポーツ教室や大会などを実施していくことが必要である。	B	スポーツを通じた青少年育成の観点からもスポーツを楽しむことのできる環境の場を提供していくことが必要である。
レクリエーションスポーツ振興事業	体育振興課	5,724,049	3,566,577	9,290,626	B	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図る。	B	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図っていく。
スポーツ教室事業	体育振興課	649,432	966,358	1,615,790	B	当事業は費用対効果に優れた事業である。スポーツ人口の裾野の拡大や市民が気軽にスポーツに親しむ契機となるよう、当事業の継続が必要である。	B	スポーツを気軽に楽しめる機会と場を通じて、健康及び体力の保持のみならず、自分もできるという経験から自信が生まれ、また、人と人の触れ合いから仲間意識や人との温かみを感じる機会が生まれる。
構成事務事業名 (評価対象外)	社会体育費事務経費、相生市スポーツ推進委員事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

2 安心して暮らせる、強くなやかなまち
 (1)安全で安心なまちづくり
 ①安心して暮らせるまちづくりの推進

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	交通ルールの普及・啓発を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	全国交通安全運動期間を中心に、子ども又は高齢者を対象とした交通安全教室や、街頭キャンペーンを行い、交通安全意識の普及に努めた。		
			担当部	企画総務部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
交通安全推進 啓発事業	危機管理課	2,323,970	5,220,764	7,544,734	B	市民の交通安全意識の醸成を図るため、引き続き実施する。	B	交通安全教室やキャンペーン等の交通安全に関する啓発活動を引き続き実施するとともに、市民へ広く広報できる新たな取り組みも検討していく。
交通安全協会 負担金事業	危機管理課	986,888	270,000	1,256,888	B	効果的に交通安全教室や交通キャンペーンを実施するため、継続して行う。	B	今後も、警察、交通安全協会と市が連携し、効果的な交通安全教室、自転車教室の実施を継続するとともに、新たな取り組みについても検討する。
放置自転車対 策事業	危機管理課	636,694	0	636,694	B	放置自転車が減少傾向にある現在の状況を注視しつつ、継続して実施する。	B	駅前を中心とした自転車駐輪場の整備が進み、放置自転車も年々減少しているが、日々のパトロールが重要である。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	防犯対策の充実を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	自治会による防犯設備設置支援として、防犯カメラ2台、防犯灯58台の設置補助を行った。地域における犯罪防止のため、引き続き、防犯環境整備の啓発と支援を行う必要がある。		
			担当部	企画総務部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
安全安心のま ち推進事業	危機管理課	1,273,388	2,351,476	3,624,864	C	自動録音電話機の普及促進に一定の成果を収め、自動録音電話機等の購入補助事業は廃止したが、それ以外については地域の防犯対策の向上のため、継続して実施する。	C	防犯カメラについて、幹線道路や公共スペースへの設置を防犯協会が行い、安全安心なまちづくりを行うことができている。また、高齢者を対象とした簡易型自動録音機の配布及び自動録音機購入補助を行い、特殊詐欺防止を図った。
構成事務事業名 (評価対象外)	地域防犯設備設置補助金交付事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②防災力の強化

取り組み事項	災害への備えの充実を図る		施策の総合評価	C	課題 方向性	必要に応じて自主防災組織が行う防災訓練への助言、職員派遣等を行っている。今後、自主防災組織や防災士と連携した防災活動に取り組む必要がある。		
			担当部	企画総務部				
構成事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
防災訓練事業	危機管理課	1,458,076	0	1,458,076	C	多数の市民が参加できるよう、実施方法や訓練内容を工夫し、実践的な防災訓練の実施に取り組む。	C	シェイクアウト訓練は実施しているが、集団訓練は実施できていない。今後は自主防災組織との合同訓練など、実践的な集団訓練の実施を目指す必要がある。
自主防災組織事業	危機管理課	1,146,082	165,804	1,311,886	B	地域における防災意識を高め、相互に助け合うことができる関係性の構築を図るため、引き続き実施する。	B	訓練助成を活用する自主防災組織も年々減少し、例年同じ組織が取り組んでいる状況から、他地域も活動を促進するための周知・広報活動が必要である。
構成事業名 (評価対象外)	防災事業、水防業務経費							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	非常備消防体制の強化を図る		施策の総合評価	C	課題 方向性	現行の団員の勧誘は、消防団員自らが勧誘し、定数維持に努めていたが、今後は現行の勧誘方法と並行して、SNS等も活用し、積極的な広報活動で入団者を募る必要がある。			
			担当部	企画総務部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	消防団活動事業、消防団運営事業、消防操法大会等事業、消防施設整備事業、消防自動車等購入事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

3 健やかな暮らしを守り支え合うまち
 (1)互いに支え合う福祉のまちづくり
 ①地域福祉活動の充実

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	地域福祉の体制づくりと活動を支援する		施策の総合評価	B	課題 方向性	新型コロナウイルス感染症の第5類感染症移行により、地域福祉活動拠点である総合福祉会館の利用人数は回復傾向であったが、令和6年度は利用人数が減少した。今後も継続して、各施策を実施することで地域福祉力を維持していく必要がある。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
戦没者遺族等 団体活動補助 事業	社会福祉課	980,543	150,000	1,130,543	B	戦争の惨禍と平和の尊さを次世代に引き継いでいくためにも、会を支援し、存続させていく必要がある。	B	戦争の惨禍と平和の尊さを次世代に引き継いでいき、世代間交流を途絶えさせないためにも団体支援は必要である。
地域自殺対策 緊急強化事業	子育て元気課	1,120,620	489,878	1,610,498	B	自殺者の増加は避けなければならない、自殺を未然に防ぐための事業として認められるため、継続していく必要がある。	B	コロナ禍を経て、急激に生活様式や価値観などの転換が進み、その影響で不応感を抱えている人が増加しつつある。その中で、危機を未然に防ぐためにも当事業は継続して実施することが必要である。
総合福祉会館 管理運営事業	社会福祉課	2,451,358	25,586,664	28,038,022	B	地域福祉活動の拠点としての機能を維持するためにも、今後も総合福祉会館を適正に管理運営していく必要がある。	B	地域福祉活動の拠点としての機能を維持するためにも、今後も総合福祉会館を適正に管理運営していく必要がある。
老人いこいの 家等管理事業	長寿福祉室	140,077	1,775,551	1,915,628	B	利用人数はコロナ禍前よりは減少傾向にあるが、施設は地域住民の貴重な交流の場の一つであるため、今後も適切に管理していく。	B	コロナ禍以降より、利用人数は減少傾向にあるが、利用人数増を目標とし、利用促進を図るため、適切な管理に努める。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	地域福祉の体制づくりと活動を支援する		施策の総合評価	B	課題方向性	新型コロナウイルス感染症の第5類感染症移行により、地域福祉活動拠点である総合福祉会館の利用人数は回復傾向であったが、令和6年度は利用人数が減少した。今後も継続して、各施策を実施することで地域福祉力を維持していく必要がある。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
生きがい交流センター管理運営事業	長寿福祉室	980,543	9,406,567	10,387,110	B	利用人数はコロナ禍前よりは減少傾向にあるが、高齢者の心身の介護予防を進めるために、より利用者のニーズに合った講座の実施等により、適切に管理運営をしていく。	B	毎年、前年度より増を目指し、より利用者のニーズに合った講座実施に向けて、緻密な年間計画を立てるなど、生きがい交流センターの管理者と連携を図る。
構成事務事業名 (評価対象外)	戦没者遺族等援護事業、更生保護活動補助事業、民生児童委員運営事業、社会福祉協議会活動事業(社会福祉)、老人福祉センター管理事業、社会福祉総務費事務経費(社会福祉)、社会福祉法人指導監査事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	地域福祉のセーフティーネットを推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	物価高騰の影響が不透明ななか、今後も生活に困窮する方のためにも、的確な相談指導により、適正・適格に各制度の運用を実施していく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
行路困窮者取扱事業	社会福祉課	1,680,931	15,500	1,696,431	B	今後も一定数が見込まれる行路困窮者への救済措置は必要であり、現状のまま継続することとする。	B	行路困窮者への一定の救済措置は必要である。
災害見舞事業	社会福祉課	70,038	100,000	170,038	B	自然災害被災者への第一次支援は市として実施し続けるべきである。	B	災害被災者の救済のためにも、第一次支援は必要である。
構成事務事業名 (評価対象外)	生活保護受給者就労支援事業、生活困窮者自立相談支援事業、行旅死亡人取扱事業、生活保護適正実施推進事業、生活保護事業、生活保護総務費事務経費							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(2)障害のある人が安心して暮らせるまちづくり
 ①地域生活支援の充実

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	社会参加を支援する		施策の総合評価	B	課題 方向性	基幹相談支援センターにおいては、相談件数が年々増加している。地域における相談支援の中核的な役割を担う基幹として、障害の種類やニーズに対応できるよう、総合的かつ専門的な支援を行うことができるよう、機能の充実を図る。		
	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)			健康福祉部	
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
成年後見制度 利用支援事業	社会福祉課	980,543	240,000	1,220,543	B	成年後見制度は、親族等がない障害のある人が、安心して本人らしい生活が続けられるよう、権利を守り、支援するために必要な制度である。引き続き、関係機関と連携を図りながら、啓発活動及び理解促進を行う。	B	関係機関等との連携により、後見人が必要と思われる人の申立てを行うことができている。引き続き、他の障害福祉サービスの利用状況や相談機関等との連携を図るとともに、継続的な啓発活動に取り組む。
障害者団体等 補助事業	社会福祉課	350,194	1,350,000	1,700,194	B	障害のある人の社会参加や自立した生活の促進のため、当事者やその家族等の団体は障害者福祉の向上のために重要な役割を担っており、引き続き、各団体の活動を支援する。	B	各団体の自主的活動や理解促進事業の発展のための補助であり、安定的な活動の継続には、継続することが望ましい。
矢野あいあい センター管理事業	社会福祉課	280,155	754,590	1,034,745	C	地域における福祉活動と障害者自立支援施設の活動拠点を担う施設として、安全確保に努めながら継続して事業を実施する。今後は、地域の福祉活動の場としても利用促進に努める。	C	老朽化による変状が顕在化しつつあるが、安全確保に努め状況を注視しながら事業を実施する。障害のある人の日中活動の場としてだけでなく、目的の一つである交流の場としての活用の仕方を検討する。
構成事務事業名 (評価対象外)	障害者地域生活支援事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	障害福祉サービスを充実する		施策の総合評価		課題 方向性	福祉サービスのニーズが高まっており、今後も適切にサービスの提供が行えるよう体制確保に努める。		
			B	健康福祉部				
構成事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
重症心身障害者福祉年金支給事業	社会福祉課	235,577	19,783,200	20,018,777	E	支給額が少額であり、有効性も低いと考えられる。事業開始から長年が経過する中で、国の障害年金制度も改正されており、現在の社会情勢の中で見合っているとは考えにくい。障害のある人が利用できるサービスや制度の不足分を補い、「障害のある人の生活の向上を図る」という当初の目的は果たされていると判断されることから廃止する。	E	障害年金制度が創設される以前から、重度の障害のある人の経済的負担の軽減や生活向上を目的として実施されてきたが、様々な障害福祉施策が実施されている現状や支給額を考慮すると、事業の有効性が薄れてしまっている状況にあることから廃止する。
身体障害者福祉基金事業	社会福祉課	280,155	194,600	474,755	B	障害者の経済的負担軽減の観点より事業の継続実施が適当である。	B	福祉の増進を図ることを目的とし、身体に障害のある人の移動手段の拡大と経済的負担の軽減につなげる事業であるが、令和6年度に1件の申請があった。身体に障害のある人やその家族の経済的負担の軽減、社会参加促進の一助となる制度である。引き続き制度周知を行い事業を実施する。
心身障害児就学奨励金支給事業	社会福祉課	350,194	588,000	938,194	B	障害のある子どもたちの就学機会と経済的負担軽減の一助となっている。本事業の継続は必須である。	B	子どもたちが安定した学校生活を送るための一助となっており、引き続き関係機関と連携することで、対象者を的確に把握し、適正な執行を行う。
心身障害者扶養共済制度施行事業	社会福祉課	280,155	4,128	284,283	B	障害のある方の将来の経済的安定につながる本事業は継続すべきである。共済制度への加入促進にむけ制度の周知を行う。	B	近年受給者数が少ないため、障害のある人の保護者に共済制度及び当該助成事業の周知を行う必要がある。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	障害福祉サービスを充実する		施策の総合評価	B	課題 方向性	福祉サービスのニーズが高まっており、今後も適切にサービスの提供が行えるよう体制確保に努める。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
心身障害児 (者)歯科診療 事業	社会福祉課	210,116	2,895,000	3,105,116	B	障害のある人への歯科診療の機会を確保するために、事業継続すべきである。	B	一般の歯科医院を治療を受けることが困難な障害のある子ども等が、適切な歯科診療を受けることができるよう、支援を継続する。
在宅重度心身 障害者(児)等 福祉事業	社会福祉課	439,316	515,590	954,906	A	令和7年度より利用券の枚数や助成対象などについて拡充して実施する。	A	タクシーの利用助成を図ることは、障害のある人の移動手段の確保や行動範囲の拡大、社会参加の促進において一定の効果があると考ええる。利用券の枚数や助成対象などについて拡充し実施する。
軽・中度難聴児 補聴器購入費 助成事業	社会福祉課	210,116	100,000	310,116	B	軽・中度難聴児の補聴器装用にかかる他の助成制度はなく、早期治療の観点からも、本制度は有効である。引き続き、関係機関と連携し、制度の周知を図る。	B	補聴器の装用により、言語の習得、教育等における健全な発達を支援するものであり、現状のまま継続する。対象者の把握が困難であるが、引き続き学校等と連携し、制度周知を図る。
障害者等住宅 改造事業	社会福祉課	210,116	0	210,116	B	制度を必要とする人に情報が行き届くよう、制度の周知を図る。	B	住み慣れた住宅での生活を希望する障害のある人が、住宅改造により自立した生活を送ることの一助となる制度である。制度を必要とする人に情報が行き届くよう、引き続き制度周知を行い事業を実施する。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	障害福祉サービスを充実する		施策の総合評価	B	課題 方向性	福祉サービスのニーズが高まっており、今後も適切にサービスの提供が行えるよう体制確保に努める。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
野の草園管理 事業	社会福祉課	1,120,620	2,317,700	3,438,320	B	障害のある人の日中活動を支援する施設であり、市の障害福祉の増進に寄与する施設である。施設の安全性を保ち、利用者が安心安全に利用できるよう、指定管理者と協議しながら適正な運営管理に努める。	B	指定管理者により、専門性を活かした高いサービスが提供されている。また施設の安全確保に努め状況を注視しながら、適正な維持修繕等を行う。
構成事務事業名 (評価対象外)	障害者自立支援事業、特別障害者手当等支給事業、重度心身障害者(児)介護手当支給事業、障害福祉計画等策定事業、障害児通所給付支給事業、障害者福祉費事務経費							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(3)子育てしやすいまちづくり
 ①子育て環境の充実

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	母子保健対策を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	多岐にわたる妊娠、子育て世代の相談内容に応じ、各関係部署及び関係機関と連携することにより、相談内容を解消することができた。引き続き必要な支援を適切に行っていく。	
	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)		方向性	所見
妊活カップル応援事業	子育て元気課	989,442	2,000,000	2,989,442	B	高度な不妊治療を行うことを躊躇している夫婦へ、応援金を給付することにより、積極的な治療を行うことを応援し、妊娠数の増加につなげるため、継続実施していく。	B 助成対象市民へ医療機関から市の助成制度について周知されており、関係機関との連携によりサービスは定着している。引き続き、必要とする者が当該制度を利用できるよう啓発を行うとともに、関係機関と更に連携しながら事業を実施する。
妊婦歯科健康診査実施事業	子育て元気課	415,124	150,000	565,124	B	妊娠時に口腔衛生を向上させ、早産や低体重児出産を予防するため、事業を継続実施していく。	B 妊娠中の歯科健診の重要性を伝え、受診しやすい環境を整えることで妊婦及び生まれてくる子の口腔衛生の向上につながる。妊娠届出時の同時交付で全妊婦へ直接対応できており効率的である。8か月アンケートの送付時に未受診者へ受診勧奨を行い、事業の周知を徹底している。受診率向上へ向けて新たな取組み内容を検討し、今後も継続実施する。
子育て世代包括支援センター事業	子育て元気課	9,474,175	15,044,521	24,518,696	A	妊娠届出時や8か月のアンケート、育児相談等きめ細かな面談を行うことで、妊娠期から出産、子育て期とそのステージに応じた対応ができていく。また、令和7年度から母子保健部門と児童福祉部門の両機能を組織として一体的に運営する「こども家庭センター」を設置し、個々の家庭に応じた支援の切れ目ない対応など、相談支援体制の強化を行う。	A 妊娠初期の面接や妊娠8か月頃のアンケート等にて妊婦の状況の把握に努めることで、切れ目ない支援につながっている。また、令和7年度から母子保健部門と児童福祉部門の機能を組織として一体的に運営する「こども家庭センター」を設置し、両部門の連携・協働を深め、相談支援の強化を図る。
構成事務事業名 (評価対象外)	育児等健康支援事業、妊婦健康診査等補助事業、母子保健相談指導事業、乳幼児健康診査等事業、未熟児養育医療給付事業						

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	子どもへの虐待防止対策を推進する		施策の総合評価		課題 方向性	支援が必要な家庭等への適切な介入により、大きな虐待事案等が発生することなく対応できた。子育てに係る課題の複雑難化や虐待の深刻化が懸念される中、今後さらに人的・物的・社会的な相談支援体制の整備・強化を図っていく必要がある。		
			担当部	B				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
こども家庭総合 支援拠点事業	子育て元気課	10,282,851	2,541,480	12,824,331	C	子育てに困難を抱える世帯がこれまで以上に顕在化し、児童虐待が深刻化するケースもある状況を鑑み、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもに対し、母子保健・児童福祉の両機能が一体的に相談支援を行う機関として、こども家庭センターを設置し、虐待への予防的な対応から子育てに困難を抱える家庭まで、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチを両輪として、切れ目なく、漏れなく対応していくことが望ましい。	C	家庭環境や時代背景などにより、多種多様な相談及び困難事例が増加していることもあり、令和7年度以降は、全ての妊産婦・子育て世帯・子どもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関(こども家庭センター)を開設し、全ての子どもの健全な育成と虐待予防を図っていく。
子育て家庭支 援訪問事業	子育て元気課	1,871,931	472,500	2,344,431	B	支援が必要な家庭を的確に発見し、必要なサービスや機関につなげるため、引き続き実施していくことが虐待予防にも寄与するものと考ええる。	B	家庭環境や時代背景などにより多種多様な相談が増加しており、関係機関と更なる連携が必要である。
構成事務事業名 (評価対象外)	こども家庭センター運営事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	ひとり親家庭などの自立を支援する		施策の総合評価	B	課題 方向性	ひとり親家庭の自立に向けて、子育てに関する相談行務や就業に関する資格取得の補助については、今後も経済面において重要であるため、引き続き実施していく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
社会福祉総務 費事務経費(子 育て)	子育て元気課	280,155	50,000	330,155	B	母子家庭や寡婦等の情報交換等の場として、引き続き実施していく。	B	今後も母子家庭等が増加する中で、ひとり親家庭に対する情報交換の場として必要であるが、広報等により更なるPRが必要である。
交通遺児激励 事業	子育て元気課	280,155	40,902	321,057	B	交通遺児が新たに発生することは喜ばしいことではないが、新たに発生した場合には激励金を速やかに支給することで、引き続き対象児童及びその家庭の経済的支援を行う。	B	基金事業であるため、継続して実施していくとともに、学校側にも協力を依頼し、対象者の把握に努める必要がある。
母子家庭等自 立支援給付金 事業	子育て元気課	585,771	132,360	718,131	B	ひとり親家庭の相談業務を通して、求職活動や資格取得を促し、就業支援を促進し、自立に向けた支援を推進していく。	B	母子・父子自立支援員の就労相談や児童扶養手当の現況届提出時の就労状況の確認等、当該事業の活用に結びつく体制を構築し、引き続き母子・父子家庭の母及び父の就労支援を促進する。
構成事務事業名 (評価対象外)	母子父子福祉費事務経費							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②子どもの健やかな発育の支援

取り組み事項	多様な保育サービスの充実を図る		施策の総合評価	C	課題 方向性	保育士確保や保護者の経済的負担軽減のため、引き続き適切に事業を実施していく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
利用者負担額補助事業	子育て元気課	1,190,659	3,148,700	4,339,359	B	対象となる世帯の経済的負担の軽減を図ることにより、保護者が不安なく子育てと仕事を両立することにつなげることができる。	B	引き続き実施していくことで、対象となる世帯の経済的負担の軽減を図る。
保育士等就業支援事業	子育て元気課	280,155	320,000	600,155	B	保護者が安心して働けるよう事業の周知を徹底することで、保育士確保を推進し、待機児童解消を目指していく。	B	引き続き事業を実施することで、保育士確保を推進し、待機児童解消を目指していく。公立保育所の保育士不足は深刻であるため、新たな保育士確保対策も合わせて検討していく。
副食費補助事業	子育て元気課	1,190,659	5,998,540	7,189,199	B	子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることにより、保護者が不安なく子育てと仕事を両立することにつなげることができる。	B	保育料無償化の対象とならない副食費部分を補助することで、効果的な補助を実施できている。
構成事務事業名 (評価対象外)	保育所管理運営委託事業、保育所等運営事業、特別保育補助事業、保育所施設整備事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	子育て支援サービスを充実する		施策の総合評価		課題 方向性	各種事業において、子育て中の保護者の交流の場となり、家庭や地域の子育て力の向上につながる重要な事業となっているため、引き続き実施していく。		
			B	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
子育て情報提供事業	子育て元気課	560,310	496,514	1,056,824	B	子育て家庭の支援を図るため、引き続き適切に子育て関連の情報提供等を実施していく。	B	引き続き事業を継続していくことで、子育て世帯の保護者の仲間作りや情報交換ができる場所等の子育て関連情報を提供でき、子育て支援を促進する。
子育て学習活動推進事業	子育て元気課	4,412,198	744,336	5,156,534	B	地域の子育て支援拠点として、市の中心的な役割を果たしており、引き続き現在の体制を維持して実施していく。	B	引き続き事業を継続していくことで、今後も子育て学習センターが地域子育て支援拠点として親子の交流促進の場となり、子育て家庭の育児に関する不安解消を図る場所として定着し、子育て支援を促進する。
修学旅行援助事業	子育て元気課	210,116	98,000	308,116	B	適切に対象者に支給ができており、引き続き現在の体制を維持して実施していく。	B	要保護・準要保護世帯の児童が安心して修学旅行に参加できる環境を整えるため、現在の支給額等を維持し、引き続き支援を実施していく。
子供の遊び場等設置補助事業	子育て元気課	140,077	0	140,077	E	令和3年度に相生市公園施設長寿命化計画が策定され、現在、市が管理する都市公園において、安全対策を図りながら改築・更新が進んでおり、遊具をはじめ公園施設機能を保全し、計画的な長寿命化対策を図り、ライフサイクルコストの削減を図っている。当該計画の推進により本事業の子育て家庭の健全な遊び場や安全な遊具を提供するという目的が果たされていることから本事業を廃止した。	C	市が管理する都市公園において、改築・更新が進んでいることから、本事業の必要性を再検討する必要があると考える。自治会等の管理する公園もあることから制度の周知を行い、子育て家庭の身近な子どもの遊び場を確保するため、引き続き実施していく。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	子育て支援サービスを充実する		施策の総合評価	B	課題 方向性	各種事業において、子育て中の保護者の交流の場となり、家庭や地域の子育て力の向上につながる重要な事業となっているため、引き続き実施していく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
ファミリーサポートセンター事業	子育て元気課	3,138,859	480,720	3,619,579	B	仕事と育児を両立できる環境の整備や地域の子育て支援を行い、引き続き保護者等や児童の福祉の増進を図る。	B	引き続き事業を継続していくことで、子育て世帯の仕事と育児を両立できる環境の整備や地域に支援者を増やし、保護者及び児童の福祉の増進を図る。
子育て応援券交付事業	子育て元気課	426,577	1,547,530	1,974,107	E	より子育て家庭の支援につながる事業にするため、令和7年度より妊婦のための支援給付金として支給し、おむつ等の育児用品にも使用できるように本事業を廃止した。	E	子育て家庭への支援にさらにつなげていくため事業の在り方を検討した結果、令和6年度で応援券を廃止
出産祝金支給事業	子育て元気課	388,377	7,692,980	8,081,357	E	より子育て家庭の支援につながる事業にするため、令和7年度より妊婦のための支援給付金として支給し、おむつ等の育児用品にも使用できるように本事業を廃止した。	E	子育て家庭の支援をさらにつなげる事業とするため、妊婦のための給付金へ上乗せする方式に見直し
構成事務事業名 (評価対象外)	社会福祉協議会活動事業(子育て)、児童手当等支給事業、子ども・子育て支援事業、児童福祉総務費事務経費、児童手当等支給事務事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(4)健康に暮らせるまちづくり
 ①地域医療の充実

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	地域医療体制を充実させる		施策の総合評価	B	課題 方向性	一次救急の受け入れ先がなくなれば、二次救急、三次救急への圧迫等影響があるため、このまま体制を維持する。			
			担当部	健康福祉部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	救急医療施設運営事業、保健衛生総務費事務経費								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	地域医療に貢献できる人を育成する		施策の総合評価	B	課題 方向性	入学試験の出願者数は前年度より27人、38%の減となった。 また、卒業生32人のうち29人が看護師国家試験に合格し、医療機関に就職した。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
看護専門学校 運営事業	看護専門学校	78,252,302	655,395,840	733,648,142	B	看護師国家試験の合格率は、全国平均を超える高い合格率を維持しているが、令和6年度においては3名が不合格となっており、全員合格に向け継続して国家試験対策に取り組んでいく。 現在、令和8年度の運用開始に向け、校舎の建替え事業を進めており、校舎更新による教育環境の向上により受験生への訴求力を高めていく。	B	看護師国家試験の合格率は高い水準を維持しているが、出願者は平成25年度をピークに減少傾向にある。 優秀な学生確保の対策として、入試制度の改革やオープンキャンパスの拡充等に引き続き取り組むとともに、新校舎建設事業を円滑に進め、教育環境の向上を図る。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	安定した市民病院運営を行う		施策の総合評価	C	課題 方向性	患者の減少により医業収益が減少したため、資金不足が生じ、一般会計からの繰入れを行った。今後、入院患者を確保するため、地域連携室を中心に他病院や地域の診療所、介護施設、ケアマネージャー等との連携強化を図り、経営改善を行って行きたい。			
			担当部	市民病院					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)									

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②健康づくりと予防対策の推進

取り組み事項	健康づくり意識を醸成する		施策の総合評価	B	課題 方向性	市民へ効果的に普及・啓発できるよう、実施方法等の工夫を行い、引き続き健康づくりと予防対策を進める。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
健康づくり推進事業	子育て元気課	3,833,018	2,289,079	6,122,097	B	令和6年度は周知方法等の見直しを行い、健診を受けやすい体制の整備に努めた。今後も健康への意識を高めるためにも、随時周知方法等の見直しを行い、生活習慣病健康診査をはじめとした各種健康診査等、他事業や他課と協力して受診者の増加を図る。	B	令和6年度は受診者数が増加している。若年期からの健康維持は今後も重要であるため、周知方法等の見直しを行いながら、他事業や他課と協力して受診者増加につなげる。
健康ポイント制度事業	子育て元気課	528,471	366,000	894,471	E	若年、中年層の参加が少なく改善が必要である。事業の内容を一から見直し、健康づくりと予防対策につながる運動習慣等の定着を図ることが重要である。	E	アンケート結果から参加者は60歳以上が約9割を占め、中年・若年層の参加が少ないことがわかった。事業の内容を一から見直し、中年・若年層も取り組みやすい内容に見直す。
構成事務事業名 (評価対象外)	がん患者QOL支援事業、保健対策推進事業、後期高齢者健康増進事業、健康増進事業、食育推進事業、特定健診・特定保健指導事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	感染症などの予防を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	感染症を予防するには、予防接種により市民全体の免疫水準を維持し、一定の接種率を確保することが重要である。そのため、通年による予防接種機会の確保を図り、継続して事業を進める。			
			担当部	健康福祉部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	予防接種事業、感染症予防事業、新型コロナウイルスワクチン接種事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(5) 高齢者がいきいきと暮せるまちづくり
 ① 日常生活支援の充実

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	在宅福祉サービスを充実する		施策の総合評価	B	課題 方向性	高齢者ができる限り住み慣れた地域で安全安心に生活できるよう必要な在宅サービスを常に検討する必要がある。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
敬老事業	長寿福祉室	2,343,086	7,643,354	9,986,440	D	高齢者に生きがいを与える事業ではあるが、今後も事業内容については、社会情勢や近隣市町の動向を注視し、検討は欠かさないようにしていく。	D	敬老事業は対象者及びその家族からは大変喜ばれている。市長が訪問し直接祝うなど、敬老の思いを感じてもらい、高齢者の方に生きがいを持っていただくことができている。しかし、平均寿命が伸び、対象者が増加する中、再度見直しする必要がある。
高年クラブ等社会活動促進事業	長寿福祉室	1,222,465	2,475,571	3,698,036	C	会員数は減少傾向にあるが、地域の活動の場やつながりの場として有効であるため、引き続き加入促進を図り、活動の支援を図りたい。	C	会員数が減少傾向にあるので、閉じこもりがちな高齢者、団塊世代の比較的若い層の方々に高年クラブの活動に参加、体験したいと思うような活動内容、広報手段を新たに考え、加入促進を図りたい。
しあわせ基金事業	長寿福祉室	770,426	1,319,000	2,089,426	B	高齢者の在宅福祉の向上及び健康づくりの推進に寄与するための事業に適切に支出できるよう、適宜事業を見直しながら基金事業を組み立てていく。	B	基金事業を見直す会議等において、事業内容等を精査して、よりよい事業内容に基金を支出できるよう改善を図る。移送サービスについては、今後、周知方法などについて社協と連携を図りながら事業を進めていく必要がある。
老人短期入所運営事業	長寿福祉室	140,077	78,576	218,653	B	虐待による緊急的な措置としても必要不可欠な事業である。介護報酬の見直しと同時に委託料の見直しが必要である。	B	養護老人ホームが満床である場合には事業実施は難しいが、虐待案件などの緊急性がある場合に必要な事業である。高齢者の安心安全また健康的な生活のためには必要な制度である。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	在宅福祉サービスを充実する		施策の総合評価	B	課題 方向性	高齢者ができる限り住み慣れた地域で安全安心に生活できるよう必要な在宅サービスを常に検討する必要がある。					
			担当部	健康福祉部							
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価			
					方向性	所見	方向性	所見			
高齢者等住宅 改造助成事業	長寿福祉室	2,241,241	6,302,000	8,543,241	B	県事業の随伴補助であり、事業費の1/2の補てんがあり、住み慣れた住宅で安心して自立した生活を継続するために必要な事業である。	B	専門職による事前調査により、申請者にとって不要な工事を発見し、未然に不要な給付を防ぐこともあり、効果的で適正な事業実施ができています。			
高齢者在宅生活 支援事業	長寿福祉室	2,228,503	1,196,840	3,425,343	B	高齢者の在宅生活を支援していくための施策であるが、今後も社会情勢を鑑みながら事業の見直しを随時していく必要がある。	B	訪問理・美容…事業の利用要件に該当する人が少ないが、その中でも利用者は増の状況である。補聴器購入費助成…令和4年度は市民税非課税世帯の方のみ対象であったが、より多くの方が申請できるように令和5年度からは、市民税課税世帯の方に対しても助成を行ったところ利用者は増加した。			
アイアイコール 事業	長寿福祉室	630,349	1,568,050	2,198,399	B	在宅生活の安心安全のために一定のニーズはある。	B	利用者が緊急ボタンを押し、救急車で搬送される件数が毎年数件あり、相談連絡等も毎月利用されている方がいる状態である。近隣に緊急補助員のなり手がないため、遠方の家族が登録されている場合があり課題である。			
お元気コール 事業	長寿福祉室	630,349	75,565	705,914	B	新規申込者に関しては、高年クラブの会員による「お元気コール」のみとなり、高年クラブの役割としての効果もある。	B	現在の利用者は週1回の連絡を楽しみにされている方が多い。登録者数の増減はほぼない状況である。			
構成事務事業名 (評価対象外)	老人保護措置事業										

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②地域包括ケアの推進

取り組み事項	介護予防などを推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	それぞれの状況に応じた事業、サービスを提供することで、住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう努めている。今後はさらなる効果が得られるよう、事業等を見直しながら取り組んでいく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
高齢者保健事業・介護予防等一体的事業	子育て元気課	5,533,065	598,399	6,131,464	B	後期高齢者に対し、健康寿命の延伸に向けた個別または集団への支援は、継続的・定期的実施していく必要がある。	B	高齢者一人ひとりが自身の健康の保持増進・介護予防へ関心を持ち、取組みに繋がるよう継続して普及啓発や保健指導を実施していく必要がある。
地域介護予防活動支援事業	長寿福祉室	2,171,203	1,244,844	3,416,047	B	いきいき百歳体操の参加者増加のため、積極的な周知が必要である。実施方法や事業の効果説明を行い、要支援・要介護状態にならないよう保健師や栄養士等の専門職の健康教育の実施等、他の介護予防事業や関係機関と連携を図りながら高齢者がいきいきと暮らせるよう支援策を検討する。	B	いきいき百歳体操の参加者の増加に向け積極的な周知や、参加者が要支援・要介護状態にならないよう健康教育等が必要である。
構成事業名 (評価対象外)	介護予防普及啓発事業、介護予防・生活支援サービス事業、介護予防把握事業、介護保険事業、介護保険事業、介護保険事業、介護予防・生活支援サービス事業、介護予防・生活支援サービス事業、高額介護予防サービス費相当事業、高額医療合算介護予防サービス費相当事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	生活支援のサービスを充実する		施策の総合評価	B	課題 方向性	生活支援の充実を図るため、効果的な施策である。周知・啓発等に取り組み、さらなる効果を図っていく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
家族介護用品 支給事業	長寿福祉室	70,038	830,876	900,914	B	寝たきり高齢者等を在宅で介護している家族の経済的・精神的負担の軽減を図ることができており、継続して実施する。	B	利用者が少ないが、今後需要は高まるため、ケアマネジャーや民生委員等へ引き続き周知していく。
家族介護慰労 金支給事業	長寿福祉室	70,038	0	70,038	E	要介護4相当以上の者で、介護サービスを利用していないという条件に該当する人はかなり少ない状況である。在宅で家族等が介護をする際には慰労金ではなく、介護保険サービスを積極的に利用していただくよう支援をしていく。	E	要介護4相当以上の者で、介護サービスを利用していないという条件に該当する人はかなり少なく、介護保険制度が発足して間もない事業開始時と現在では状況が異なり、サービス量は十分あり、慰労金としての金銭的負担軽減より介護する身体・心理的負担の方が大きい。
成年後見制度 利用支援事業	長寿福祉室	700,388	228,500	928,888	B	経済的な理由などにより制度が利用できていない方の救済を行うために必要であり、継続して実施する必要がある。	B	後見制度利用の必要があっても、申立ができない方や、経済的な理由などで制度利用ができない方を救済できるため必要な事業である。
認知症高齢者 サポート事業	長寿福祉室	2,031,125	385,561	2,416,686	B	認知症への正しい理解や対応のためには、認知症サポーター及びキャラバン・メイトの養成は不可欠であることから、継続して実施する。	B	キャラバン・メイト希望者には近隣や県の研修に受講を案内し、メイトの数も増えている。認知症サポーター養成と合わせ、キャラバン・メイトの養成も事業として必要不可欠である。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	生活支援のサービスを充実する		施策の総合評価	B	課題 方向性	生活支援の充実を図るため、効果的な施策である。周知・啓発等に取り組み、さらなる効果を図っていく。		
			担当部	健康福祉部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
高齢者見守り事業	長寿福祉室	1,375,282	235,180	1,610,462	B	高齢者等の安全安心な在宅生活のために、協力機関、地域及び関係機関と連携した見守りは必要不可欠であるため、継続して実施する。	B	新規の協力機関獲得のため、事業の周知に努める必要がある。今後も地域と連携し、ひとり歩き高齢者に対して安全・安心の確保に努める。
構成事務事業名 (評価対象外)	包括的支援事業、市民後見推進事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	福祉医療の充実を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	福祉医療制度を充実させることで、助成対象者等にかかる負担の軽減に効果が出ているものと考えている。疾病の早期発見、早期治療等により健康を保持し、市民が安心して医療を受けることができる環境づくりに努める必要がある。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
乳幼児等医療費助成事業	市民課	910,504	54,559,730	55,470,234	B	疾病の早期発見、早期治療により健康を保持できるよう、乳幼児等の保護者等に対し、引き続き子育てに係る負担の軽減を行い、市民が安心して医療を受けることができる環境づくりに努める必要がある。	B	今後も県の補助金を受けて事業を実施し、補助金交付対象外の世帯にも、市の単独事業により引き続き実施する。また、適正な受診を啓発し、助成金額の節減に努める。
こども医療費助成事業	市民課	910,504	60,031,908	60,942,412	B	疾病の早期発見、早期治療により健康を保持できるよう、こどもの保護者等に対し、引き続き子育てに係る負担の軽減を行い、市民が安心して医療を受けることができる環境づくりに努める必要がある。	B	今後も県の補助金を受けて事業を実施し、補助金交付対象外の世帯にも市の単独事業により引き続き実施する。また、適正な受診を啓発し、助成金額の節減に努める。
自立支援等医療費助成事業	市民課	910,504	76,020	986,524	B	疾病の早期発見、早期治療により健康を保持できるよう、乳幼児等の保護者等に対し、引き続き子育てに係る負担の軽減を行い、市民が安心して医療を受けることができる環境づくりに努める必要がある。	B	他の公費負担医療が優先適用され、福祉医療制度の対象とはならない、乳幼児等及びこどもの医療費の他公費助成後の自己負担額の全部を助成し、乳幼児等医療費助成対象者及びこどもの医療費助成対象者との公平性を確保する。
鍼灸マッサージ施療費助成事業	市民課	592,116	1,421,000	2,013,116	B	疾病の早期発見、早期治療により健康を保持できるよう、対象者に対し、引き続き負担の軽減を行い、市民が安心して施術を受けることができる環境づくりに努める必要がある。	B	対象年齢人口に占める申請者数の割合は減少している。社会的公平を図る観点、当該事業の担う役割及び本市の財政事情等を踏まえ、事業の方向性を検討する。
構成事務事業名 (評価対象外)	母子家庭等医療費給付事業、高齢期移行者医療費助成事業、高齢重度障害者医療費助成事業、重度障害者医療費助成事業、福祉医療費一般事務経費							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(2)活気のあるまちづくり

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

①安心して生活できる環境の整備

取り組み事項	空家等対策を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	空家等対策計画に基づき空家の利活用や適正管理について72件の啓発を行った。 空家所有者へ適正な管理を促すため、西播磨暮らしサポートセンターや宅建協会と連携し対応を行う。 国や県の除却や活用の補助金を活用することにより、空き家所有者の負担軽減を図り、除却をはじめとした適正管理を促す。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
空家等対策事業	地域振興課	6,765,749	9,319,206	16,084,955	B	地域の安全安心を守るため空家対策を推進することは必要である。	B	市民の安全・安心を守るため老朽危険空家の除却、管理不全空家の解消、優良空家の利活用の推進を行うことは必要である。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	公共交通の利便性向上を図る		施策の総合評価	C		課題 方向性	路線バスの維持はされているが赤字が大きいままであるため、路線バス及びデマンドタクシー利用促進の必要がある。デマンドタクシーにおいては、制度見直しの必要がある。また、矢野地区では令和6年7月からデマンドタクシーのほか乗合タクシー事業を開始した。（若狭野地区においても令和6年7月から乗合タクシー事業を開始した。）令和7年度からは、矢野地区のデマンドタクシー事業を廃止する。	
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
地方バス路線維持補助事業	地域振興課	2,171,203	30,000,000	32,171,203	B	市内の主要な地域をつなぐ路線バスについては、維持に努めるとともに利便性の向上を図る必要がある。	B	移動困難者の支援のためデマンドタクシーの利用について啓発を行う。
生活交通システム事業	地域振興課	3,934,862	7,098,190	11,033,052	C	他地域においても生活交通の支援を必要としているため、制度の見直し及び他地域に拡大した場合の費用増加について検討する必要がある。	C	利用者においては、必要な生活交通となっており、今後免許返納の増加も予想されるため利用しやすい制度に見直しのうえ実施する必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②市民の協働によるまちづくりの推進

取り組み事項	地域コミュニティ活動を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	コミュニティの活性化には各団体の支援をしながら、継続的に活動できるよう必要な施策を検討する必要がある。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
消費者行政推進事業	地域振興課	7,838,419	2,683,968	10,522,387	B	消費生活相談は毎年多くの相談を受けており、事業継続は必要である。	B	近年はネットトラブルが増加傾向であり、他市町における被害状況を把握するとともに相談を行っていく必要がある。
緑化推進事業	地域振興課	2,180,115	943,666	3,123,781	B	緑化推進には地域団体の積極的な活動が必要であるため、事業継続は必要である、	B	各団体において花壇等の管理をいただき、緑化意識の啓発をすることができた。
コミュニティ推進事業	地域振興課	1,352,326	120,865	1,473,191	B	地域団体の活動において夏祭りなどのイベントをすることは、コミュニティの活性化に必要であり事業継続は必要である。	B	コロナ禍以降イベントが少なくなっている。今後は、地域が活性化するよう各団体の意見を踏まえた備品整備を行う。
地域自治支援事業	地域振興課	5,369,318	17,992,455	23,361,773	B	地域問題の解決を行うための主な団体として自治体は必要不可欠であり、事業継続は必要である。	B	自治会の組織の弱体化が進む地域もあり、地域課題の解決に取り組めるよう支援するとともに地域コミュニティの活性化を促進する必要がある。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	地域コミュニティ活動を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	コミュニティの活性化には各団体の支援をしながら、継続的に活動できるよう必要な施策を検討する必要がある。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
集会所等設置 費助成事業	地域振興課	794,619	3,600,000	4,394,619	B	自治会を維持するための拠点である集会所の整備や改善の支援を行い、自治会活動の活性化を図るために、事業継続は必要である。	B	適時、集会所の改修等を行うことで施設の延命化が図られている。
佐方福祉セン ター管理事業	環境課	388,394	837,400	1,225,794	B	多様なコミュニティ活動の場として住民の福祉に寄与しており、事業継続は必要である。	B	現美化センター建設時に地元への貢献施設として建設された当該施設であるが、新たに美化センターを建替える際の将来的な位置づけについて検討する必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	相生市総合補償保険事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	男女共同参画社会の実現に努める		施策の総合評価	B	課題 方向性	セミナーの実施等では新規会員の獲得が難しいため、組織の再編を見据え、男女共同参画以外の活動を行う市民団体とも協働で事業実施し啓発につなげていく。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
いきいき男女共生事業	地域振興課	4,482,483	782,380	5,264,863	C	市民活動グループの新規会員の獲得が難しいため、男女共同参画以外の活動を行う市民団体とも協働で事業実施し、啓発につなげていく。	B	市民活動グループとの協働によりセミナー等の円滑な実施ができています。相生市男女共同参画センターについては、有効活用を図る必要があります。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

③まちのにぎわいの創出

取り組み事項	就労環境の充実を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	就労支援については継続した取り組みを行うことで地元就職者の増加を目指す		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
就労促進事業	地域振興課	848,105	757,400	1,605,505	C	地域活性化を図る上では若年者の地元就職支援への取り組みは必要である。	C	就労機会の確保や雇用の安定を図るためには必要な施策である。奨学金返還制度を設ける事業所を増やすため積極的に企業に働きかけを行いながら、有効性を高める必要がある。また、インターンシップについて市内の受入れ先を増やし引き続き市内企業への就労に結びつくように改善を行いながら、より充実した就労促進事業を継続し就労環境の構築を図る。
労働者福祉事業	地域振興課	427,872	384,000	811,872	B	労働者の福祉活動向上のため、継続して実施する。	B	労働者の福祉活動の向上のため、本協議会の活動への助成を維持していく。
勤労者住宅資金融資事業	地域振興課	290,339	4,000,000	4,290,339	C	金融機関独自の住宅融資が低金利なため、本制度の有利な点がない。金融市場の動向をみながら制度を検証する。	C	既存利用者への対応をとりながら、制度の見直しを検討していく。
構成事務事業名 (評価対象外)	シルバー人材センター育成事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	商工業の活性化を図る		施策の総合評価	A	課題 方向性	地域の活性化のためにも継続して創業支援や商店街活性化への取り組みを行っていく。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
商工業対策事業	地域振興課	570,494	235,000	805,494	C	市内特産品等を効率的にPRしていくため、継続して実施する。	B	市が単独で実施するよりも、効率的、効果的に特産品等のPRが出来ている。しかし、市内特産品の取扱件数が少ないため、製造・販売者へ更に周知していく必要がある。
地域振興事業	地域振興課	5,481,487	3,220,450	8,701,937	D	市内商工業者のコロナ禍後や物価高騰による影響を注視し、必要な支援を行っていく必要がある。	C	物価高騰等の影響が長引く中で、引き続き事業者等の状況把握に努め、国・県の動向にも注視し、様々な観点から必要とされる支援策を実施していく必要がある。
商店街活性化事業	地域振興課	1,571,413	2,841,000	4,412,413	B	商店街空き店舗の情報を更新・活用することで、商店街の活性化を図るためにも継続して実施する。	B	新規創業希望者への創業支援や商店街の活性化のため、空き店舗バンクの更新については継続して実施していく。
商工会議所振興事業	地域振興課	364,201	6,071,000	6,435,201	B	市の商工業の活性化を図る上では、相生商工会議所との連携が必要であり、継続して実施する。	B	相生商工会議所と連携して商工業の振興を図るため、今後も継続して助成していく。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	商工業の活性化を図る		施策の総合評価	A	課題 方向性	地域の活性化のためにも継続して創業支援や商店街活性化への取り組みを行っていく。		
			担当部	市民生活部				
構成事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
創業支援事業	地域振興課	700,388	500,000	1,200,388	B	商店街空き店舗助成との連携により、効果的な取り組みが行えており、継続して実施する。	B	創業相談の実施や空き店舗助成の活用により新規創業につなげることができている。また、創業相談者が創業塾を受講することでより安心して確実な創業への取り組みを行うことが実現できている。
匠の技(造船技術)継承事業	地域振興課	119,702	200,000	319,702	C	伝統技能継承に係る本事業のPRを更に行った上で、継続して実施する。	C	研修の内容や活動実績について、企業以外にも広報紙等で市民に広くPRを行い、伝統技能継承に携わる本協議会の活動内容の充実化を図る必要がある。
中小企業小額資金融資事業	地域振興課	191,013	1,652,332	1,843,345	B	今後の状況を注視しながら継続して実施する。	B	国や県の有利な融資制度と本制度のバランスを検証し、今後物価高騰などによる苦しい立場にある市内中小企業者への支援制度として継続して実施する必要がある。
構成事業名 (評価対象外)	計量推進事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

④地域資源を活かした観光の振興

取り組み事項	魅力発信により観光客を誘致する		施策の総合評価	B	課題 方向性	相生ペーロン祭、羅漢の里もみじまつり、かきまつりを開催することができた。今後についても、市の魅力発信のため、相生市の三大祭として開催する。		
	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
中学生ペーロン 推進事業	地域振興課	140,077	600,000	740,077	B	相生ペーロンの伝統文化継承のためにも将来の担い手を育成する事業として継続して実施する。	B	これまでの長い歴史の中で継承されてきたノウハウをベースに、より安全かつ円滑に進めていくことが求められる。
海洋訓練教室 推進事業	地域振興課	196,108	672,223	868,331	D	B&G海洋クラブの活動とペーロンを融合する取り組みを検討し、実施する。	C	相生ペーロン海館を活用してペーロンと連携した活動を行うなど、海洋スポーツの普及のみならず、文化伝統の継承を視野に入れ、相生湾臨海部の活性化を図っていく。
観光協会推進 事業	地域振興課	2,241,228	2,950,000	5,191,228	B	相生市の観光振興を推進するため、継続して相生市観光協会と連携して実施していく。	B	相生市の観光振興を推進する上では継続して観光協会の活動を支援していく必要がある。
相生ペーロン祭 事業	地域振興課	7,287,206	20,667,650	27,954,856	C	大きな事故もなく適切に事業が完了した。物価高騰の中、持続した祭の運営ができるように運営方法の見直しなど大幅な改革が必要である。	C	運営経費が高騰するなか適切に事業が完了した。物価高騰の中、持続した祭の運営ができるように運営方法の見直しなど大幅な改革が必要である。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	魅力発信により観光客を誘致する		施策の総合評価		B	課題 方向性	相生ペーロン祭、羅漢の里もみじまつり、かきまつりを開催することができた。今後についても、市の魅力発信のため、相生市の三大祭として開催する。	
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
羅漢の里もみじまつり事業	地域振興課	4,355,128	1,900,000	6,255,128	C	相生市の山側の観光資源をPRする場として、地元と協力しながら継続して実施する。	B	羅漢の里や感状山など相生市の観光資源をアピールする場でもあるとともに、地元の理解と協力のもと、今後も地域活性化のために創意工夫しながら、もみじまつりを継続実施する必要がある。
相生かきまつり事業	地域振興課	2,796,443	666,000	3,462,443	C	相生市の最大の特産品である「相生かき」を広く全国的にPRするイベントとして継続して実施する。	C	かきまつりとして実施できたことは、かきのPRイベントとして成功であった。今後も近隣自治体のかきイベントの状況等を見ながら適切な形で実施していく。
相生ペーロン振興事業	地域振興課	916,865	550,000	1,466,865	B	相生ペーロンの将来の担い手育成の場として、また体験型観光プログラムとして重要な観光資源であることから、継続して実施する。	C	コロナ禍以前と同様に学校及び一般企業等を中心に体験乗船実施ができています。
ペーロン海館管理事業	地域振興課	280,155	3,406,164	3,686,319	C	相生ペーロンの普及、伝統文化継承の拠点施設として適切に運営していく必要がある。	B	相生ペーロンの更なる振興のため、体験乗船を核とした多様な活用方法を検討しながら継続していく。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	魅力発信により観光客を誘致する		施策の総合評価	B	課題 方向性	相生ペーロン祭、羅漢の里もみじまつり、かきまつりを開催することができた。今後についても、市の魅力発信のため、相生市の三大祭として開催する。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
道の駅管理運営事業	地域振興課	262,324	5,424,128	5,686,452	C	相生市の観光情報の発信拠点であり、一番の観光スポットでもあることから、適切に運営していく必要がある。	C	道の駅は相生市の観光情報の発信拠点だけでなく、それ自体が観光スポットとして市の賑わいづくりに寄与していることから、適正に維持管理をしていき、魅力のある施設として維持していく必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	観光費事務経費							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	広域観光を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	インバウンドへの対応を含めた広域観光として市のPRを実施していく。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
相生市観・交・ 商連携型地域 活性化事業	地域振興課	2,623,241	5,726,087	8,349,328	C	広域観光の推進においては、あいおい情報ラウンジを拠点施設として継続的に取り組んでいく必要がある。	C	駅前を拠点として市内全域の活性化を目指す上でも、観光・交通・商業の各関係機関と連携し継続していく必要がある。
ふるさと応援大使活用事業	地域振興課	942,336	202,543	1,144,879	C	広域的に情報を発信する有効な手段として、活用方法を検討した上で継続して実施する。	C	ふるさと応援大使の任命者の位置付け、役割を整理した上で、より広く市内外に相生市をPR出来るような活用の方法を検討していく必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(3)環境にやさしいまちづくり
 ①豊かな自然環境の保全

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	環境汚染防止対策を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	職員の少ない中、苦情に係る対応について迅速に処理が出来た。			
			担当部	市民生活部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	大気汚染常時監視網管理運営事業、公害行政推進事業、水質汚濁調査運営事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	環境保全活動を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	相生湾を中心としたあいおい播磨灘の里海づくりにおいて、子ども達の体験型の自然学習活動等を展開しており、その活動に関わる団体や協力機関が増え、徐々に里海づくり活動の広がりが出てきている。今後はその広がりを継続しながらより多くの市民参加が出来るような活動内容を検討していく。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
環境施策関連 事業	環境課	4,202,328	1,845,581	6,047,909	B	概ね計画通り進捗している。	B	活動の幅を広げるためには参加者枠を広げる必要もあると思われるが、海での体験活動がメインのため、安全管理面から「里海クラブ」員を20名限定としている。安全に活動を行っていただける方策を研究する必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	自然公園管理事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②環境衛生の保持

取り組み事項	ごみの適正な処理を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	分別の徹底により、ごみの減量、リサイクル化が図れ、施設の延命化に努めるとともに効率的な運転、維持管理を行うことができた。		
	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
リサイクル推進事業	環境課	1,330,720	6,478,889	7,809,609	B	市民のリサイクル推進の場として、十分な役割を果たしており、ニーズなどを見ながら継続して事業を行う。	B	資源ごみの売却単価は見積合わせで決定しており、市場価格によるので定額ではないが、資源を有効活用するために、継続して事業を行う必要がある。
ごみ箱等設置補助事業	環境課	229,216	66,000	295,216	E	事業開始から約30年が経過しており、一定の効果が得られたことに併せて、全体事業費に対するコスト削減の側面からも廃止とする。	E	地区のごみステーション管理や環境美化、収集の利便性などからも、設置について地元と調整を図りながら補助を行ってきたが、ステーション新設がほとんど見込まれておらず、併せて、事業開始から約30年が経過しており、当初の目的を達する一定の効果が得られたため廃止とする。
塵芥収集事業	環境課	121,071,624	55,281,410	176,353,034	B	収集業務の一部民間委託を実施し、収集業務の効率化及びコスト削減に努めている。	B	分別されずにごみ出しが行われているステーションがあるので、普及啓発を行う必要がある。
美化センター管理運営事業	環境課	12,479,614	208,138,313	220,617,927	B	現在、新たな廃棄物処理施設について、民設民営での整備を検討している。	B	新施設の計画が必要となっている。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	ごみの適正な処理を推進する		施策の総合評価		課題 方向性	分別の徹底により、ごみの減量、リサイクル化が図れ、施設の延命化に努めるとともに効率的な運転、維持管理を行うことができた。		
			B	担当部			市民生活部	
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
最終処分場管理運営事業	環境課	3,049,868	9,680,219	12,730,087	B	埋立について、減量を図りながら延命化に努める必要がある。	B	最終処分場の延命化を図るため、分別を徹底し埋め立て、ごみの削減を図る必要がある。
粗大ごみ処理事業	環境課	5,959,660	2,986,435	8,946,095	B	粗大ごみについては、可燃と不燃に分別し、処理委託料の経費削減に努めるとともに、中間処理により一部再資源化を図った。	B	収集した粗大ごみについて、焼却する物、埋め立てする物、委託処理する物に職員が再分別している。引き続きコスト削減について検討する。
ごみ有料化事業	環境課	967,788	34,308,246	35,276,034	B	事業継続することで、可燃ごみ減量化につながっている。	A	令和6年度において、脱炭素社会に貢献することを目的にバイオマス素材のごみ袋を採用することに伴い、従来のごみ袋との入れ替えや販売、それぞれの在庫管理の徹底を図れた。
リサイクルセンター管理運営事業	環境課	24,558,144	15,350,449	39,908,593	B	適正な再資源化、可燃ごみの処理量削減を図るため継続していく。	B	排出された資源ごみについて、適正な再資源化、可燃ごみの処理量削減を図るため、設備の維持管理及び職員による分別を行っており、今後も必要な業務である。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	ごみの適正な処理を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	分別の徹底により、ごみの減量、リサイクル化が図れ、施設の延命化に努めるとともに効率的な運転、維持管理を行うことができた。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
環境クリーン事業	環境課	840,465	3,334,320	4,174,785	B	道路、河川等から不法投棄ごみを回収し、市内の環境美化が十分に図られた。	B	周回ルートや業務内容の見直しを行いながら最適な手法を研究する。
構成事務事業名 (評価対象外)	近畿自然歩道事業、清掃総務費事務経費、塵芥処理費事務経費、(仮称)地域エネルギーセンター推進事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	し尿の適正な処理をする		施策の総合評価	A	課題 方向性	効率的な収集計画に基づきコスト削減に努め、適正に対応できた。今後も、効率的な収集計画に基づき適正処理を行う。			
			担当部	市民生活部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	し尿収集事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	感染症の蔓延を予防する		施策の総合評価	B	課題 方向性	市内の側溝からの感染症を予防するためにも、害虫駆除事業は継続する必要がある。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
公衆浴場設備 改善資金利子 補給補助事業	環境課	19,100	0	19,100	E	令和6年度、公衆浴場が廃業したため廃止とする。	E	市内に1軒存続していた公衆浴場が令和6年度中に休業となっており、再開見込みもないことから廃止とする。
衛生害虫駆除 事業	環境課	140,077	197,000	337,077	B	予算設定等、見込みどおりの事業進捗ができており、市民の安全を確保するためにも継続して補助事業に取り組んでいく必要がある。	B	スズメバチ駆除費補助件数については、おおよそ見込みどおりとなっており、市民の安全を守るための事業として、令和7年度以降も営巣状況に合わせた予算設定をしていく。
構成事務事業名 (評価対象外)	畜犬登録事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	墓地などの適正管理に努める		施策の総合評価	B	課題 方向性	事務事業全体としては予定どおり進捗しているが、葬儀事業等、見直しができるところは今後の課題として取り組んでいく。		
			担当部	市民生活部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
葬儀事業	環境課	573,032	1,767,340	2,340,372	B	今後も適正かつ効率的な運営に努める。	B	令和4年度中に葬儀祭壇等の入れ替えを実施しているが、今後も経費削減に努めつつ、安全に運営を行えるように備品の修繕及び更新を行う。
ささゆり苑管理 運営事業	環境課	636,694	35,495,382	36,132,076	B	民間での葬儀が増えている中で、ささゆり苑を利用する人が不便なく利用できるように施設の管理に努め、効率的な運営を図ることができた。今後も適正かつ効率的な運営に努める。	B	市民に欠かせない施設として、火葬炉修繕を行いながら延命化に努め、効率的な運営を図ることができた。
市営墓地管理 事業	環境課	1,209,709	16,032,481	17,242,190	B	一般墓地貸付率は90%台で推移しており、市民サービス面でも適正に運営できている。現状のまま事業を継続していく。	B	近年の社会情勢等から墓地の需要に変化が見られる中で、一般墓地の貸付数についてはここ数年5件程で推移しており、需用費等のコストを抑えることで、1基あたりの維持管理経費を大幅に減少させることにつながっている。
構成事務事業名 (評価対象外)	市営墓地使用料還付事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

5 暮らしを支える都市機能の整ったまち

(1) 快適に暮らせるまちづくり

① 快適な都市機能の維持

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	下水道事業の健全経営と維持管理を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	経費回収率が目標値を下回らないように、下水道使用料について、定期的に改定を検討していく。			
			担当部	建設農林部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	下水道事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	道路などの整備と適切な維持管理に努める		施策の総合評価	B	課題方向性	地域環境の美化意識の向上及び組織の強化などに有効である。			
			担当部	建設農林部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	交通安全施設整備事業、街灯維持管理事業、道路橋梁維持管理事業、道路台帳整備事業、道路橋梁整備事業、道路橋梁整備事業(建設管理)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	秩序ある都市空間を形成する		施策の総合評価	B	課題 方向性	国・県の受託事務については、引き続き適正に継続実施する。 狭あい道路整備事業については、緊急車両の通行や防災機能の向上を図るため、継続する。			
			担当部	建設農林部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	土地利用規制等対策事業、屋外広告物取扱事業、地籍調査事業、都市計画総務費事務経費、土地区画整理事務経費、建設管理課事務経費、都市整備課事務経費、狭あい道路整備事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②安心な住環境の保全

取り組み事項	住環境の整備に努める		施策の総合評価	B	課題 方向性	地震や土砂災害から住宅の被害を軽減し市民の安全性を確保するための事業であり、引き続き周知を行いながら継続して実施する。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
住宅耐震化促進事業	都市整備課	5,252,910	1,935,500	7,188,410	B	引き続き事業の周知を行いながら、市民の安全性を確保するため継続して実施する。	B	広報紙やホームページによる普及啓発以外に、相談会の開催によりさらなる啓発に努めた。耐震診断実施者へのフォローアップなどにより、市民の住宅への地震に対する安全性確保への認識を促す。また、助成内容も適宜見直しを図り、市民にとって利用しやすい制度とすることで耐震化の促進を図る。
住宅・建築物土砂災害対策支援事業	都市整備課	490,271	0	490,271	B	事業の周知方法を検討した上で、市民の安全性を確保するため継続して実施する。	B	対象となる住宅・建築物を所有する住民への制度周知の方法を検討し、事業を推進していく必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	公園、緑地の保全を図る		施策の総合評価	A	課題 方向性	引き続き、適正な維持管理のもと安全安心な公園の環境整備に努める。			
			担当部	建設農林部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	公園施設維持管理事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	公営住宅などの適切な管理に努める		施策の総合評価	B	課題 方向性	入居率は減少傾向にあるものの、9割近くを確保している住宅もあり、概ね有効に市民サービスに供されている。市営住宅については統合建替を推進していき、その他の住宅については、延命化の必要性や適正な管理戸数について検討していく。			
			担当部	建設農林部					
構成事業事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事業事業名 (評価対象外)	住環境整備費事務経費、再開発住宅管理事業、公営住宅維持管理事業、コミュニティ住宅管理事業、定住促進住宅管理事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

③港湾と河川の保全

取り組み事項	港湾の維持管理及び活用を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	官民連携により海岸環境が保たれ、快適な住環境が確保できている。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
海岸美化対策 事業(建設管 理)	都市整備課	0	0	0	D	海岸美化対策事業については、県と連携し海岸美化に係る清掃事業を展開している。また、近年、市において、海の自然環境をテーマに事業を実施しており、本事業の目的が補完されていることから次年度以降廃止とし、事業縮小を行う。	E	海岸美化対策事業(リフレッシュ瀬戸内)については、毎年継続しているが、市他事業でも同様の事業効果が期待できていることから、次年度以降は廃止といたしたい。
構成事務事業名 (評価対象外)	港湾管理事業、ポンプ場管理事業、海岸美化対策事業、港湾整備事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	河川の保全を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	地域の美化意識の向上及び組織の強化などに有効である。				
			担当部	建設農林部						
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価				事業単独でみた評価	
					方向性	所見		方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	河川等改修事業、河川管理事業、ポンプ場管理事業									

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

(2) 地域生産力の向上を目指すまちづくり
 ① 農林水産業の持続的発展

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	農業の振興を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	国の補助金・交付金事業に関連した事業が多いため、国及び県の動向を注視していく。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
夢ある農村づくり推進事業	農林水産課	2,241,241	2,735,290	4,976,531	C	特産品の安定生産や新規就農者などの支援を継続するとともに、より効果的な補助メニューへと見直しを継続する。	B	農業振興のため、細やかな支援ができるようニーズに沿った補助メニューを設置しているが、実績を踏まえ重点的に取り組む施策へ補助メニューの見直しを引き続き検討していく。
上松農業共同作業所管理事業	農林水産課	280,155	0	280,155	B	指定管理者制度を活用し、施設の有効利用を維持する。	B	指定管理者と連携し、有効利用を促進する。
中山間地域等直接支払事業	農林水産課	1,750,970	2,550,525	4,301,495	B	中山間地域の農業を引き続き支援する。	D	農地管理者の高齢化や担い手不足により集落の負担が大きくなっているのが現状であり、人材不足により、制度の利用を取りやめる集落が出てきている。引き続き市が適正に制度周知や利活用を促すことで、集落内での負担軽減を図る必要がある。
ふるさと交流館管理事業	農林水産課	1,540,853	15,202,992	16,743,845	B	指定管理者制度を活用し、利用者の確保に努めるとともに、施設の有効利用を図る。	B	現在の指定管理者が効率的かつ有効的に施設運営を行い、利用率の向上を図ることができるよう、引き続き市との協力体制を強固なものにしていく。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	農業の振興を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	国の補助金・交付金事業に関連した事業が多いため、国及び県の動向を注視していく。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
有害鳥獣対策 事業	農林水産課	3,221,785	9,870,400	13,092,185	B	継続して有害鳥獣の駆除を推進する。	B	農作物の更なる減少を図るため、継続して有害鳥獣の駆除を推進していく必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	農業金融制度利子補給事業、土地改良事業、農業委員会費事務経費、農業総務費事務経費、農業振興等奨励事業、ふれあい公園管理事業、環境保全型農業直接支払事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	森林整備及び保全を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	森林環境譲与税を有効に活用した取組みのほか、羅漢の里管理運営事業など、本市の特色を活かした事業を推進する。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
林業振興事業	農林水産課	3,240,885	429,210	3,670,095	B	森林に触れ、林業技術を習得する機会であり、林業振興にとって有用である。	B	林業教室を開催することにより、林業技術の伝承や後継者育成につながっている。
羅漢の里管理事業	農林水産課	1,388,037	34,731,212	36,119,249	B	施設の老朽化が課題であり、更新等を検討していく必要がある。	B	指定管理者との連携を強化するとともに、施設の改修や宿泊プランの増等により、利用者の増加を目指す。
森林環境基金事業	農林水産課	1,120,620	6,651,166	7,771,786	B	森林環境譲与税を有効に活用し、引き続き本市の森林経営に資する事業に取り組む必要がある。	B	森林環境譲与税や基金の活用方法について、森林所有者への利用意向調査を行っていくと同時に、森林境界明確化の為に候補図作成や危険木伐採等の実施可能な事業を行っていく。
構成事務事業名 (評価対象外)	遊歩道整備事業、林道維持修繕事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	水産業の振興を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	相生牡蠣の生産振興を中心とした事業構成である。引き続き、漁協等、関係機関と連携を図り、必要な支援策を講じていく必要がある。		
			担当部	建設農林部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
水産業振興事業	農林水産課	630,349	500,000	1,130,349	B	漁業協同組合や関係機関と連携し、引き続き水産業の安定的な経営を支援する。	B	県や周辺自治体及び漁業等関係団体と連携しながら安定的な種カキの確保手段を検討していく。
水産物市場管理事業	農林水産課	2,871,591	1,207,412	4,079,003	C	運営形態の見直しに向けた準備を着実に進める。	C	運営形態の見直しに向けた準備を着実に進める。
構成事務事業名 (評価対象外)	水産業振興費事務経費、漁船保険補助事業、漁業近代化資金利子補給事業、漁業金融制度利子補給事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

6 まちづくりを進める土台を強化する
 (1) 安定した持続可能な行政経営
 ① 定住の促進と関係人口の拡大

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	まちの認知度の向上を図る		施策の総合評価		課題 方向性	新たに住宅検討層及び結婚・子育て関心層に向け、インターネット広告等を実施し、ターゲットを絞り、戦略的に相生市をPRできた。今後も、相生市認知度向上のため、時代にあった様々な手法を用い、市内外へPRを行っていく。		
			A	担当部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
相生市定住促進PR事業	定住促進室	1,992,892	3,473,078	5,465,970	C	まちの認知度向上のためには、重要な事業の一つである。PRの方法を効果検証を行い、ブラッシュアップしていく必要がある。	C	市の知名度向上や人口社会増対策のために、様々な手法を用いて、市の取組をPRすることは重要なことである。
相生市定住・移住相談事業	定住促進室	1,776,431	14,300	1,790,731	C	定住・移住相談事業を行うことは、相生市の人口増減だけではなく、定住・移住希望者を含めたまちの知名度向上や魅力向上に寄与するものであり、今後も行っていく必要がある。	C	移住希望者が相談しやすい休日にオンライン相談会を行うなど移住者目線で取り組んだ。今後は、相談会の集客のため、開催PRなどに注力していく必要がある。
シティプロモーション事業	企画広報課	3,221,785	4,018,399	7,240,184	C	認知度の向上は必須であり、ターゲットを明確に実施するとともに、手法についても費用対効果を検証しながら行う必要がある。	C	時代に即したPR手法や、効果検証方法について研究しながら事業を継続していく。
広報事業	企画広報課	7,704,269	8,496,414	16,200,683	C	広報紙は全市民に市政情報を提供できる手段として非常に重要である。今後も広報紙に関する満足度調査等により、ニーズの把握に努めるとともに、市外の方にも市公式LINE等様々な媒体による情報発信を積極的に行い、まちの知名度向上へ繋げていく。	B	広報紙は全市民に情報を提供できる重要な手段であり、市政情報のみならず、市の魅力についても発信することができ、市政への関心を高めるとともに、本市への愛着と誇りの醸成につながる。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	まちの認知度の向上を図る		施策の総合評価	A	課題 方向性	新たに住宅検討層及び結婚・子育て関心層に向け、インターネット広告等を実施し、ターゲットを絞り、戦略的に相生市をPRできた。今後も、相生市認知度向上のため、時代にあった様々な手法を用い、市内外へPRを行っていく。		
			担当部	企画総務部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
ホームページ整備事業	企画広報課	6,933,842	2,853,730	9,787,572	C	<p>情報提供や情報公開のツールとして非常に重要な事業であることから、誰もが見やすいホームページを整え、積極的に情報提供を行っていく。</p>	B	<p>インターネットの普及等によりアクセス数も増加しており、情報提供や情報公開のツールとして非常に重要な事業であることから、引き続き、市民のニーズに対応した情報提供を行っていく。</p>
構成事務事業名 (評価対象外)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項			施策の総合評価	B	課題 方向性			
	ふれあいのあるまちづくりを推進する		担当部	企画総務部		ポストコロナ後の新たな価値観に対応した事業を展開し、本市に住み続けていたいと思う人を増やすことで、転出者を抑制する		
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
相生市民さわやかあいさつ運動事業	企画広報課	140,077	0	140,077	B	市民の住みよさの実感を高め、本市への愛着と絆を醸成していく。	B	広く啓発できる効率的効果的な手法を検討しつつ、あいさつ運動を継続することにより、市民の住みよさの実感を高め、本市への愛着と絆を醸成していく。
国際交流事業	企画広報課	3,291,824	250,000	3,541,824	C	国籍等に関係なくお互いの文化等を尊重し交流することで、本市の住みやすさにつなげる。	B	日本語教室などのイベントを通じて、国際交流の場が設けられ、外国人の生活環境の向上も図られている。
隣保館活動事業	総務課	6,685,164	1,109,422	7,794,586	B	周辺地域住民との人権交流の場の提供や相談の実施を継続していくことにより、ふれあいのあるまちづくりにつなげる。	B	利用者の高齢化、固定化といった課題はあるものの、住民の生活相談や人権交流の場として、周辺地域住民等との交流の場として必要な活動である。また、インターネット上への書き込み等新たな課題もあり、モニタリングの実施等により同和問題の解決に向け取り組んでいく必要がある。
非核平和展事業	総務課	1,400,776	30,256	1,431,032	B	原爆による被害の様子を正しく伝え、市民一人ひとりが「平和の尊さ」について考える機会を提供することにより、ふれあいのあるまちづくりにつなげる。	B	社会情勢に応じて事業内容は年度によって異なるが、毎年開催することで、原爆による被害の様子を正しく伝え、市民一人ひとりが「平和の尊さ」について考える機会を作る。
構成事務事業名 (評価対象外)	地域改善対策事業、隣保館管理運営事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	住みやすいまちづくりを推進する		施策の総合評価		課題 方向性	「あつまれ新婚さん新生活応援金交付事業」により、子育て世代の移住・定住促進に努めており、事業利用者のうちの多くが転入者であり、社会増減数の維持に寄与している。		
			B	担当部			企画総務部	
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
企業立地促進事業	企画広報課	3,291,824	6,079,000	9,370,824	B	引き続き、企業のニーズを把握するように努め、雇用の拡大、市民所得の向上、固定資産税等の安定自己財源の確保を行う。	B	企業のニーズに合った用地が少なく、新たな進出には結びついていないが、引き続き、助成制度等を整備しておくことにより、新規産業の導入及び住宅地内に点在する既存企業の移転の促進を行い、雇用の拡大、市民所得の向上、固定資産税等の安定自己財源の確保を行う。
ふるさと応援事業	企画広報課	5,322,949	143,468,377	148,791,326	A	引き続き、魅力的な返礼品の開発やポータルサイトの拡充など、本市の魅力をより発信できるように取り組んでいく必要がある。	A	ふるさと納税市場は年々拡大しており、本市の魅力をより発信できるように取り組んでいく必要がある。
新婚世帯家賃等補助金交付事業	定住促進室	3,049,819	21,635,000	24,684,819	B	子育て世代が相生市へ住むきっかけのひとつとなっており、引き続き事業を実施していく。	B	子育て世代への切れ目ない支援を行うための11の鍵事業のひとつであり、経済的な理由により結婚できない若年層への結婚支援策として有効に機能している。引き続き事業を実施することで婚姻数を維持しながら、少子化の改善、定住人口の拡大へとつなげていく。
住宅取得奨励金交付事業	定住促進室	1,852,815	8,500,000	10,352,815	C	来年度、事業開始5年目となることから、他の定住支援施策等や他の自治体施策などを検証し、住みやすいまちづくりのために事業の継続について検討する必要がある。	C	新婚家賃補助制度が転入のきっかけとなり、本制度が定住のきっかけの一助となっていると考えられ、人口の社会増減に有効な制度であるが、交付件数が減少傾向にあるため、事業内容等を検討する余地はある。

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	住みやすいまちづくりを推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	「あつまれ新婚さん新生活応援金交付事業」により、子育て世代の移住・定住促進に努めており、事業利用者のうちの多くが転入者であり、社会増減数の維持に寄与している。		
			担当部	企画総務部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
あいおい暮らし お試し移住事業	定住促進室	3,043,474	2,585,317	5,628,791	C	利用実績は増えてきており、利用から実際の移住へより繋げていきたい。 そのためにも利用者と継続的にコンタクトをとっていく必要がある。	C	これまでと違った物件の確保又は体験プログラムの追加を検討することで、幅広い移住希望者のニーズに対応し、移住者の増加へとつなげていく必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	あいおいアクアポリス事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

②社会の変化に対応する組織と体制の充実

取り組み事項	行政改革を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	今後、行政評価の結果を実施計画・予算・人員配置等に反映できる仕組みづくりを研究していき、社会の変化に対応した行政改革を推進し、質の高い行政サービスにつなげる。		
			担当部	企画総務部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
教育特区事業	企画広報課	1,400,776	121,080	1,521,856	B	特区制度を活用して、民間活力を活用し学校が設置され、学校跡地の活用、地域の活性化など一定の成果を挙げている。	B	特区制度を活用して、学校が設置され一定の成果を挙げている。また、学校運営は民間、学校の評価については学校設置審議会を活用と役割が明確化されており効率的に実施できている。
行政評価システム推進事業	企画広報課	1,961,086	2,115,240	4,076,326	C	行政改革を実施するに当たって、行政評価を実施することは必要である。引き続き、全庁で統一した考えのもと行政評価を実施し、行政改革へつなげていけるよう検討を行いながら実施する必要がある。	C	実際に事業拡大や廃止などに結び付いた事業もあり、効果的に行政評価を行っている。今後より一層事業のスクラップアンドビルドに役立てていけるよう実施していくこととしたい。
行政改革事業	企画広報課	1,821,009	30,900	1,851,909	C	懇話会等の審議会の開催方法についても更に検討を進めた上で、より多くの意見が吸い上げられるよう、引き続き、行政改革事業を推進していく。	C	委員の募集方法・開催方法についても更に検討を進めた上で、引き続き、行政改革事業を推進していく。
構成事務事業名 (評価対象外)	総合計画策定事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	職員の資質向上を図る		施策の総合評価	B	課題 方向性	研修計画に基づき、役職に応じた階層や経験年数等に合わせた研修体系により、計画的に研修を実施した。派遣研修では、対面・オンラインにより効率よく受講することができた。また、相生市人材育成基本方針に基づき、社会経済情勢の変化に対応する人材を育成するため、庁内の管理・監督職から委員を選定した研修委員会を開催し、高い研修効果を得られるよう、各研修の内容について検討・見直しを図った。結果として、受講対象者に対して、課題に則した研修を実施し、研修後の受講者の理解度・達成度も高く、施策成果指標において、概ね目標を達成できた。今後については、更なる職員の資質を向上し、社会経済情勢の変化や市民ニーズに沿った内容となるよう、研修委員会や、受講アンケート結果を活用し、研修メニュー、研修機関等の検討・見直しを常に行い、研修の効果を高めていく。				
			担当部	企画総務部						
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	方向性	施策からみた評価 所見		方向性	事業単独でみた評価 所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	情報公開・個人情報保護等事業、農業総務費人件費、職員研修事業、遺族年金事業、文書事務管理事業、福利厚生事業、労務管理事業									

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	電子自治体の推進		施策の総合評価	B	課題 方向性	先進自治体の事例等を参考に、行政手続きオンライン化の対象となる業務拡充に向けた、庁内調整を継続実施する。			
			担当部	企画総務部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	基幹系システム管理運営事業、情報系システム管理運営事業、ICT推進事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	広域行政を推進する		施策の総合評価	B	課題 方向性	複雑多様化する社会の変化に迅速に対応するため、また、広域的な行政需要に対応するため、引き続き、広域的なネットワークを維持するとともに、新たな課題に対して、広域的に対応し、持続可能で十分な市民サービスを提供できるよう連携する市町と調整しながら取り組みを進める。				
			担当部	企画総務部						
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価			
					方向性	所見	方向性	所見		
構成事務事業名 (評価対象外)	西はりま消防組合事業、特定用地管理委託事業、安室ダム水道用水供給事業、西播磨水道企業団事業、広域行政事業									

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

③安定した行政経営基盤の確立

取り組み事項	健全な財政運営を行う		施策の総合評価	A	課題 方向性	令和7年度までの5か年計画である第4期行財政健全化計画に基づき、少子高齢化による社会保障費や公共施設の老朽化に伴う更新経費等の増加への対応や、近年全国で頻発している大規模災害への備えも必要となり、将来にわたり必要な行政サービスを安定して提供していくため、引き続き行財政健全化を進め、堅実で持続可能な財政運営に努める。			
			担当部	財務部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	財政調整基金事業、減債基金事業、庁舎建設基金事業、市民病院事業								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	公有財産の活用と管理を推進する		施策の総合評価	D	課題 方向性	売却可能地については、広報やホームページに掲載しているが売却に繋がっていないため、さらなる周知方法を検討するとともに民間による活用方法等についても検討する必要がある。また、市有財産の把握を行った上で、利活用に関する基本方針や計画を作成する必要がある。		
			担当部	財務部				
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見
市有財産管理 事業	財政課	8,964,967	20,279,302	29,244,269	C	市有財産の有効活用施策の検討を引き続き行い、計画的な維持保全を実施していく。	C	市として、市有財産の利活用にかかる方針等を策定し、利活用できる普通財産を把握、整理し、計画的に活用・処分していく必要がある。
構成事務事業名 (評価対象外)	庁舎管理事業(管財)、公用車両管理事業							

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

取り組み事項	公平な課税と納税意識の高揚を図る		施策の総合評価	A	課題 方向性	システムを有効活用して課税調査を行なった。預金調査システム等を活用して積極的な滞納整理を進めた。			
			担当部	財務部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価			事業単独でみた評価	
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	国民健康保険事業(徴収)、税務総務費事務経費、賦課徴収費事務経費(市民税等)、賦課徴収費事務経費(固定資産税)、賦課徴収費事務経費(徴収)、介護保険事業(徴収)、後期高齢者医療保険事業(徴収)、介護保険事業(徴収)、介護保険事業(徴収)、後期高齢者医療保険事業(徴収)、国民健康保険事業(徴収)、国民健康保険事業(徴収)、国民健康保険事業(徴収)、国民健康保険事業(徴収)								

施策の総合評価・・・ A：順調に進捗している B：おおむね順調に進捗している
 C：課題があり、対応する必要がある D：あまり進捗していない

方向性・・・ A：拡大 B：現状のまま継続 C：改善・見直しの上で継続 D：縮小
 E：廃止 F：期限到来に伴う終了 G：その他（保留・再検討）

④その他

取り組み事項	その他		施策の総合評価		課題 方向性				
			担当部	企画総務部					
構成事務事業名 (評価対象)	担当課名	人件費(円)	事業費(円)	支出合計(円)	施策からみた評価		事業単独でみた評価		
					方向性	所見	方向性	所見	
構成事務事業名 (評価対象外)	国民年金事業、一般管理費事務経費(財政)、一般管理費事務経費(秘書)、財産管理費事務経費、企画費事務経費、事故等賠償事業、公債費元金償還事業、公債費利子償還事業、予備費、職員退職手当基金事業、統計調査事務事業、工業統計調査事業、経済センサス事業、厚生労働統計調査事業(市民)、戸籍住民基本台帳等事務事業、議会費事務経費、議会活動事業、会議録作成事業、議会報作成事業、選挙管理委員会費事務経費、市長選挙執行事業、監査委員事務事業、公平委員会費事務経費、一般管理費事務経費(出納)、会計管理事業、国勢調査事業、農林業センサス事業、固定資産評価審査委員会事務経費、市議会インターネット配信事業、県補助金等返還事業、国庫補助金等返還事業、衆議院議員選挙及び最高裁国民審査執行事業、知事選挙執行事業、県議会議員選挙執行事業、市議会議員選挙執行事業、一般管理費事務経費(総務)、市税等過誤納金還付事務事業、諸費事務経費(総務課)、庁舎管理事業(総務)、漁業センサス事業、各種料金返還事業、デジタル基盤改革事業、全国家計構造調査事業								